

“みんなでつくろう
笑顔と会話の つどうまち”

☆ 東 大 戸 地 区 ☆

地 域 ま ち づ く り 計 画



五穀豊穰を願い大的を射る 大戸神社お花祭り

東 大 戸 地 区 ま ち づ く り 協 議 会

目 次

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| 第1章 | はじめに | |
| 1 | 計画策定の趣旨 | 1 |
| 2 | 計画の位置づけ・期間 | 1 |
| 第2章 | 東大戸地区の概要とまちづくりの主要課題 | |
| 1 | 地区の概要 | 2 |
| 2 | 地域住民の意向 | 5 |
| | ★地域まちづくり計画策定ワークショップ開催結果 | 6 |
| | ☆住民まちづくりアンケート調査の結果 | 9 |
| 3 | 地区の課題とまちづくりの方向性 | 16 |
| 第3章 | 東大戸地区まちづくり協議会が目指すまちづくり | |
| 1 | 地区の目指すべき将来像 (まちづくりのキャッチフレーズ) | 21 |
| 2 | 将来像実現のための基本理念 | 21 |
| 3 | 将来像の実現に向けた活動目標と活動例 | 22 |
| 4 | 地域まちづくり計画実践の流れ | 28 |
| | むすびに | 29 |
| ☆ | 資 料 編 | ☆ |
| 1 | 地域まちづくり計画策定経過 | 1 |
| 2 | 地域まちづくり計画策定部会設置要綱 | 2 |
| 3 | 部会別等ワークショップ関係資料 | 7 |
| 4 | 住民まちづくりアンケート調査関係資料 | 21 |
| 5 | 住民まちづくりアンケート調査 自由意見 | 25 |

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

香取市においては、高齢者の割合が平成37年には4割を超えると予測され、さらに世帯構造も単身世帯や小世帯の割合が増加し、核家族化が進行していくことが考えられます。

東大戸地区においても例外ではなく、少子高齢化や人口減少が進み、世帯構造が変化する中で、地域コミュニティの再生を図ることが喫緊の課題となっています。

また、東日本大震災のような想定外の災害を乗り越えるためには、日頃の訓練や備えはもちろんのこと、人と人とのつながり“絆”が大切であり、みんなが声をかけ合い、力を寄せ合い、人を気づかいながら、みんなで助け合う“地域の絆”をつくりあげることがこれからのまちづくりにとって一番大切なことです。

東大戸地区「地域まちづくり計画」は、こうした地域が抱える課題を自分たちで克服し、子どもから高齢者までのすべての方が、将来に向けて安心して生き生きと暮らすことができ、そして、「ここに住んでよかった」と思えるようなまちづくりを進めるために、東大戸地区の将来像を共有し、地域一丸となって取り組む活動方針等を定めたもので、東大戸地区におけるまちづくり活動の基本となるものです。

2 計画の位置づけ・期間

この計画は、概ね10年間の活動像を描くものですが、社会情勢の変化も踏まえ、随時見直しを行っていくものとします。

また、本計画に掲げる施策（活動）等の実践については、活動体制や取り組むことのできる環境が整ってきたものから順次取り組んでいくこととし、実際に協議会の活動にご協力いただく住民の皆さんの負担とならないよう、無理のない範囲で、できる活動から始め、徐々に活動の多様化を図っていくこととします。

第2章 東大戸地区の概要とまちづくりの主要課題

1 地区の概要

(1) 沿革

東大戸地区は、明治22年の町村制施行に伴い、大戸村、大戸川村、山之辺村、森戸村、片野村、上小川村、関村、新寺村、玉造村が合併して、香取郡東大戸村（初代）が発足した後、明治32年に、本新島村の一部（野間谷原、川尻、大戸新田、石納及び飯島の一部）と合併し、改めて東大戸村（2代目）を新設しました。

その後、昭和30年に佐原市に編入され、さらに平成18年の合併（平成の大合併）により香取市となりました。

昭和50年代までは、稲作中心の農村地帯でありましたが、昭和60年代から、玉造地区で土地区画整理事業が始まり、平成に入ってから大規模な宅地分譲が行われたことから、急速に住宅の建築が進み、地区内の人口も大幅に増加し、併せて、玉造地区の子どもたちは、佐原小学校へ通学することとなりました。

現在は、大戸区、大戸一本松自治会、大戸団地自治会、大戸団地（1～3）自治会、大戸川区、森戸区、新寺区、山之辺区、山之辺台町内会、片野区、片野団地自治会、上小川区、関区、川尻区、多田島区、飯島区、昭和町い区、昭和町ろ区（以上、東大戸小学校区）、並びに玉造第1町内会、玉造第2町内会、玉造2丁目町内会、玉造3丁目町内会、玉造東町内会（以上、佐原小学校区）の24コミュニティ（13区6町内会5自治会）で構成されています。

(2) 地 勢

東大戸地区は、香取市の西部に位置し、地形的には、利根川沿いの水田地帯と大内台を中心とする山や畑が広がる、緑豊かな自然が息づく地域です。

(3) 交 通

公共交通機関としては、JR大戸駅やJR佐原駅が利用可能なエリアにあります。

また、公共施設、医療機関などを結ぶ佐原循環バス（大戸・東大戸ルート：毎週月曜日から金曜日の週5日で運行）も運行されています。

(4) 歴史・文化

東大戸地区には、県や市の指定文化財など、後世に残すべき歴史遺産や文化が数多く存在し、歴史と文化の薫る地区です。

※千葉県指定文化財

| 区分・種別 | 名称 | 点数 | 指定年 | 所有者・場所 |
|---------|------------------|----|-------|----------|
| 有形・彫刻 | 羅龍王面・納曾利面 | 3面 | 昭和30年 | 大戸神社（大戸） |
| 有形・工芸品 | 梵鐘（貞和五年在銘） | 1口 | 昭和50年 | 浄土寺（大戸川） |
| 有形・工芸品 | 大戸神社和鏡 | 3面 | 昭和55年 | 大戸神社（大戸） |
| 有形・考古資料 | 板碑 （正元元年九月在銘） | 1基 | 平成2年 | 地福寺（大戸） |
| 有形・考古資料 | 板碑（正元元年十月廿五日在銘） | 1基 | 平成2年 | 地福寺（大戸） |

※香取市指定文化財

| 区分・種別 | 名称 | 点数 | 指定年 | 所有者・場所 |
|---------|---------------|----|-------|-----------|
| 記念物・史跡 | 片野新林古墳 | 3面 | 昭和45年 | 片野字新林（片野） |
| 有形・彫刻 | 木造阿弥陀如来坐像 | 1軀 | 昭和45年 | 西福寺（山之辺） |
| 記念物・史跡 | 肥前鹿島藩鍋島氏遺跡 | | 昭和59年 | 円通寺（上小川） |
| 有形・考古資料 | 阿弥陀文字画像板碑 | 1基 | 平成3年 | 新寺区（新寺） |
| 有形・考古資料 | 阿弥陀文字画像板碑 | 1基 | 平成3年 | 大戸区（大戸） |
| 有形・考古資料 | 阿弥陀文字画像板碑 | 1基 | 平成3年 | 浄土寺（大戸川） |
| 有形・考古資料 | 阿弥陀文字画像板碑 | 1基 | 平成3年 | 西福寺（山之辺） |
| 有形・考古資料 | 関峯崎横穴出土金銅製押出仏 | 1点 | 平成19年 | 香取市（関） |
| 有形・考古資料 | 大戸宮作1号墳出土品 | 一括 | 平成19年 | 香取市（大戸） |

(5) 人口及び高齢化率の推移

| 地区名 | 平成5年 | | 平成25年 | | 20年間の 人口増減率 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| | 人口 | 高齢化率 | 人口 | 高齢化率 | |
| 大戸 | 969 | 13.1% | 914 | 26.0% | ▲ 5.7% |
| 大戸一本松 | 139 | 11.5% | 172 | 20.9% | 23.7% |
| 大戸団地 | 295 | 2.4% | 202 | 17.3% | ▲ 31.5% |
| 大戸川 | 761 | 17.1% | 636 | 30.7% | ▲ 16.4% |
| 森戸 | 884 | 17.5% | 678 | 29.1% | ▲ 23.3% |
| 新寺 | 216 | 15.7% | 183 | 33.9% | ▲ 15.3% |
| 山之辺 | 369 | 16.3% | 363 | 25.6% | ▲ 1.6% |
| 片野 | 157 | 21.0% | 107 | 40.2% | ▲ 31.9% |
| 片野団地 | 129 | 10.9% | 120 | 24.2% | ▲ 7.0% |
| 上小川 | 199 | 17.1% | 167 | 32.9% | ▲ 16.1% |
| 関 | 171 | 17.5% | 132 | 27.3% | ▲ 22.8% |
| 川尻 | 199 | 22.1% | 151 | 36.4% | ▲ 24.1% |
| 多田島 | 62 | 14.5% | 47 | 34.0% | ▲ 24.2% |
| 飯島 | 141 | 16.3% | 114 | 33.3% | ▲ 19.2% |
| 昭和町 | 83 | 14.5% | 68 | 33.8% | ▲ 18.1% |
| 東大戸 小学区 計 | 4,774 | 15.3% | 4,054 | 30.7% | ▲ 15.1% |
| 玉造 | 361 | 10.0% | 382 | 23.3% | 5.8% |
| 玉造1丁目 | 26 | 3.8% | 194 | 11.3% | 646.2% |
| 玉造2丁目 | 35 | 2.9% | 200 | 13.0% | 471.4% |
| 玉造3丁目 | 175 | 0.6% | 522 | 8.8% | 198.3% |
| 佐原 小学区 計 | 597 | 6.5% | 1,298 | 14.1% | 117.4% |
| 東大戸地区 全 計 | 5,371 | 14.3% | 5,352 | 24.9% | ▲ 0.4% |

※平成25年香取市佐原区内 平均高齢化率：28.9%

2 地域住民の意向

現在、私たちを取り巻く環境は、少子高齢社会の急速な進行に加え、国や自治体の厳しい財政運営や長引く経済情勢の低迷、さらには、東日本大震災からの復興・復旧など、あらゆる面で厳しい社会情勢となっています。

東大戸地区においても、今後、地域の子どもたちや高齢者をどう支えていくか、あるいは災害時にどう対応していくかなど、様々な課題が山積しつつあります。

この地域に住む私たちは、その現実を知り、それに伴う将来を見据え、未来の子どもたちへ豊かな地域を守り、引き継ぐために、今できることから取り組みを始めることが必要となります。

そこで、本協議会では、私たちが願う将来の東大戸地区はどうあるべきか、今後取り組むべき活動等について、次のとおり、「住民まちづくりアンケート調査」及び「地域まちづくり計画策定」を実施し、地域の多くの皆さんから寄せられた意見を参考にして、私たちが暮らす東大戸地区の今後のあり方を検討することとしました。

■ 地域まちづくり計画策定ワークショップ

| 部会名 | 開催日時 | 参加者数 |
|----------------|--------------------------------------|------|
| 地域振興部会 | 25年7月30日(火) 午後7時～9時 | 11名 |
| 地域福祉部会 | 25年8月18日(日) 午後1時30分～3時30分 | 10名 |
| 地域 コミュニティ部会 | 25年9月24日(火) 午後7時～9時 | 10名 |
| 内 容 | 6～8ページのとおり ※開催結果の詳細は、資料編7～20ページ参照 | |

■ 住民まちづくりアンケート調査

(1) 調査期間：平成25年7月～9月

(2) 回答者数：1,628名

(3) 調査結果：調査の結果と分析については、9～15ページのとおり

※回答者からいただいた具体的な意見等については、
資料編25～45ページ参照

地域まちづくり計画策定ワークショップ 開催結果

1 目的

各部会の所掌分野にかかわらず、あらゆる視点から地域の課題や現状について意見を出し合い、「まちづくりに必要なこと、何のためにやるのか」について共通理解を得るとともに、目指すべき将来像、地域自らが取り組むべき具体的活動内容等を明らかにすることを目的に、第1回各部会においてワークショップを開催する。

2 内容

部会ごとに、参加者を5人程度の班に分けて、以下のテーマについて、“ワークショップ形式”により開催する。

テーマ1：「地域の現状・課題について」

- “気になる現状”（困っていること・地域の弱み）
- “好ましい現状”（良いところ・地域の強み）

テーマ2：「今後地域で取り組むべき活動等について」

- ⇒ ○ “今後、“自分たちでやってみたいと思うことは？”
“誰かにやってもらいたいと思うことは？”

3 開催日時・場所

| | 日 時 | 場 所 |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 地域振興部会 | 25年7月30日（火） 午後7時～9時 | みずほ ふれあいセンター |
| 地域福祉部会 | 25年8月18日（日） 午後1時30分～3時30分 | |
| 地域 コミュニティ部会 | 25年9月24日（火） 午後7時～9時 | |

部会別計画策定ワークショップでの主な意見

■ 気になる現状

【防災・防犯・交通安全】

- ・ 防災対策が不十分（災害時の対応が不安）
- ・ 地域の防災拠点がない
- ・ 外灯が少なく、防犯面で不安を感じる
- ・ 通学路が狭く、子どもたちが危険

【生活環境】

- ・ ペットの散歩マナーが悪い人がいる
- ・ ごみの不法投棄、ポイ捨てが多い
- ・ 雑草で通行に支障をきたす場所がある

【健康・高齢者福祉】

- ・ 高齢化が進んでいる（老人が多い）
- ・ 一人世帯、高齢者だけの世帯が増加
- ・ 高齢者が気軽に交流できる場がない

【子ども・教育】

- ・ 少子化が進んでいる（子どもが少ない）
- ・ 子ども同士で遊ぶ機会や場所が少ない
- ・ 少子化で子ども会や祭りの継続が心配

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・ 役員のなり手が少ない
- ・ 地域活動に参加する人が少ない
- ・ 世代間（異世代）の交流、行事がない
- ・ 学区の相違により、地域住民のコミュニケーションがとりにくい

【その他】

- ・ 公共交通手段が区によっては何もなく、不便
- ・ 車がないと生活できない
- ・ 雇用の場がない

■ 好ましい現状

【防災・防犯・交通安全】

- ・ 地区社協が実施している防犯（下校時）パトロールはととてもありがたい。
- ・ 各区で交通安全の取り組みが実施されている

【生活環境】

- ・ 自然（緑）が豊かな地域
- ・ 各区の農地水環境保全団体による環境美化活動が盛んな地域

【健康・高齢者福祉】

- ・ 元気な高齢者が多い
- ・ 地区社協や高齢者クラブの活動が活発

【子ども・教育】

- ・ 子どもは元気で、挨拶が良くできる
- ・ 子ども会が地道に活動している

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・ 隣近所どうしのつきあいが良好
- ・ 顔見知りが多く、声がけしやすい
- ・ あいさつや助け合いがよくできている
- ・ 祭り等を通じて年代を越えた付き合いがある
- ・ 地域の歴史、伝統、文化が残っている

■ 今後、取り組むべき活動や要望など

【防災・防犯・交通安全】

- ・ 災害時の協力体制の構築
- ・ 各区自主防災組織の立上げ
- ・ 防犯パトロールの実施、継続、強化
- ・ 防犯ボランティアの募集

【生活環境】

- ・ 環境美化（清掃）活動の実施
- ・ ごみステーションの環境の向上及び管理の検討

【健康・高齢者福祉】

- ・ 高齢者世帯への定期的な見守り、買い物等の支援
- ・ 高齢者が楽しく過ごせる場（集いの場）づくり
- ・ 健康増進のための実践の場づくり（健康体操やスポーツの指導等）
- ・ 高齢者の通院、買い物等の移動手段の確保

【子ども・教育】

- ・ 子どもが安心して（元気で）遊べる環境づくり
- ・ 子ども会の連携など、住民間のつながり
- ・ 親子のふれあい行事
- ・ 世代間交流イベントの開催
- ・ 子どもたちと地域住民が交流できるイベントの開催
- ・ 小学校下校時の安全確認

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・ 地域での交流を深めるためにイベント（盆踊り、運動会、グラウンドゴルフ大会、花見、カラオケ大会など）の開催
- ・ 町内会の充実
- ・ 住民が地域活動に参加しやすいよう工夫
- ・ あいさつ運動の実施
- ・ 歴史、地域文化の継承活動
- ・ 散歩を兼ねた歴史スポットめぐり

東大戸地区まちづくりアンケート調査の結果

1 アンケートの概要

(1) 目的

東大戸地区「地域まちづくり計画」を策定するにあたり、地域住民一人ひとりの意見を反映させるため、本地域に在住する住民に対し、アンケート調査を実施した。

(2) 実施時期

平成25年7月～9月

(3) 実施主体

東大戸地区まちづくり協議会

(4) 対象

東大戸地区の高校生以上の住民

※2人以上の世帯は2部、単身世帯は1部調査票の記入（回答）を依頼

(5) 方法

配布・回収とも、各区長及び区役員等の協力を得て実施

(6) 回答者数

調査対象世帯数：1,416世帯

回収票数：1,628票

(7) 集計結果記載方法

アンケートは、「選択方式」を採用しており、「複数選択」を可としている設問があります。その場合の比率は、回答者数に対する割合を表記しています。

問1. お住まいは？

| | 回答数 | 割合 |
|-------------|-------|--------|
| 大戸区 | 319 | 19.9% |
| 大戸一本松自治会 | 109 | 6.7% |
| 大戸団地 (2)自治会 | 23 | 1.4% |
| 大戸団地 (3)自治会 | 31 | 1.9% |
| 大戸川区 | 235 | 14.4% |
| 森戸区 | 290 | 17.8% |
| 新寺区 | 88 | 5.4% |
| 玉造第1町内会 | 44 | 2.7% |
| 玉造第2町内会 | 36 | 2.2% |
| 玉造2丁目町内会 | 30 | 1.8% |
| 玉造東町内会 | 77 | 4.7% |
| 山之辺区 | 34 | 2.1% |
| 山之辺台町内会 | 11 | 0.7% |
| 片野区 | 50 | 3.1% |
| 片野団地自治会 | 33 | 2.0% |
| 上小川区 | 36 | 2.2% |
| 関区 | 50 | 3.1% |
| 川尻区 | 51 | 3.1% |
| 多田島区 | 23 | 1.4% |
| 飯島区 | 31 | 1.9% |
| 昭和町い区 | 13 | 0.8% |
| 昭和町ろ区 | 14 | 0.9% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

問2 性別は？

| | 回答数 | 割合 |
|-----|-------|--------|
| 男性 | 819 | 50.3% |
| 女性 | 782 | 48.0% |
| 無回答 | 27 | 1.7% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■男性・女性ともほぼ同じ割合で回答を得ました。

問3 年齢は？

| | 回答数 | 割合 |
|--------|-------|--------|
| 15～18歳 | 16 | 1.0% |
| 19～29歳 | 59 | 3.6% |
| 30～49歳 | 344 | 21.1% |
| 50～64歳 | 612 | 37.6% |
| 65～74歳 | 378 | 23.2% |
| 75歳以上 | 197 | 12.1% |
| 無回答 | 22 | 1.4% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■年齢別では、30歳から64歳までの回答者が約59%、次いで、65歳以上が約35%、29歳以下は約5%でした。

問4 住みやすいと思う？

| 項目 | 回答数 | 割合 |
|-------|-------|--------|
| 思う | 1,035 | 63.5% |
| 思わない | 198 | 12.2% |
| わからない | 395 | 24.3% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■「住みやすい」地域と回答した方が64%で、市内の他の地区と比較しても、高い割合を示しています。

問5 今後も「東大戸地区」に住んでいたいと思う？

| | 回答数 | 割合 |
|--------------|-------|--------|
| ずっと住んでいたい | 879 | 54.1% |
| 当面は住みたい | 424 | 26.0% |
| いずれは他地域に移りたい | 69 | 4.2% |
| わからない | 256 | 15.7% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■約8割の方が東大戸地区に住み続けることを希望し、市内の他の地区と比較しても、高い割合を示しています。

問6 地域の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは？（複数選択）

| | | 選択数 | 選択割合 |
|----|---------------------|-----|-------|
| 1 | 近所や地域のつきあい・助け合い | 732 | 45.0% |
| 2 | 子どもの安心・安全の確保 | 643 | 39.5% |
| 3 | 震災、水害、火災などに対する防災対策 | 609 | 37.4% |
| 4 | 通院や買い物などの移動手手段の確保 | 597 | 36.7% |
| 5 | 高齢者の生きがいや健康づくり | 531 | 32.6% |
| 6 | 治安維持のための防犯対策・防犯活動 | 407 | 25.0% |
| 7 | 健康維持や介護予防の取組み | 342 | 21.0% |
| 8 | 雇用の場の確保 | 330 | 20.3% |
| 9 | 田園景観、水辺や緑などの自然環境保全 | 282 | 17.3% |
| 10 | 地域の清掃活動などによる生活環境の改善 | 273 | 16.8% |
| 11 | 農業後継者の育成 | 271 | 16.6% |
| 12 | 子育て支援活動の充実 | 270 | 16.6% |
| 13 | 青少年の健全育成 | 240 | 14.7% |
| 14 | 祭りやイベント等を通じた住民の交流 | 237 | 14.6% |
| 15 | 地域を担う人材の育成 | 218 | 13.4% |
| 16 | 個人のプライバシー | 178 | 10.9% |
| 17 | 歴史や文化の保存・継承 | 118 | 7.2% |
| 18 | ボランティア活動の推進 | 109 | 6.7% |
| 19 | その他 | 19 | 1.2% |

- 全体では、「近所や地域のつきあい・助け合い」を重視する人が45%、「子供の安心・安全の確保」を重視する人が39.5%いることから、地域内の誰もが顔見知りで、気軽にコミュニケーションが取れる地域社会（コミュニティ）の確立により、「安全・安心なまちづくり」、「安心して地域で子育てができる環境」などを求めているものと思われます。
- 次いで、「震災、水害、火災などに対する防災体制の充実」を求める人が37.4%いることから、日頃の防災訓練や災害時の援護体制づくりなどによる自然災害への不安解消の検討が必要と思われます。
- また、「通院や買い物などの移動手段の確保」を求める意見も多く、今後、高齢化が進み、自分で自動車を運転できない人が多くなると予想されることから、地域の高齢者や高齢者がいる家族にとって、最適な送迎方法を検討することがこれからの地域に求められることとなる。

問7 「住民参加」についての考えは？

| | 回答数 | 割合 |
|-----------------------|-------|--------|
| 何事にも積極的に参加したい | 40 | 2.5% |
| 内容や頻度等によっては、積極的に参加したい | 377 | 23.2% |
| 頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい | 802 | 49.3% |
| 関心がない | 84 | 5.2% |
| わからない | 293 | 17.9% |
| その他 | 32 | 1.9% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■「積極的に参加したい」と回答した方が約26%、「可能な範囲で参加・協力したい」と回答した方も含めると、約75%の方が地域活動に参加・協力したいと感じています。

問8 協議会の設立を知っていましたか？

| | 回答数 | 割合 |
|--------|-------|--------|
| 知っていた | 416 | 25.6% |
| 知らなかった | 1,176 | 72.2% |
| 無回答 | 36 | 2.2% |
| 計 | 1,628 | 100.0% |

■約7割の方が協議会の設立を「知らなかった」と回答していることから、今後の協議会活動等を通じた住民へのさらなる周知が必要です。

3 地区の課題とまちづくりの方向性

東大戸地区の現況や住民アンケート調査及び部会別ワークショップでの意見等をもとに、東大戸地区におけるまちづくりの課題を整理・集約するとともに、本協議会が取り組むべきまちづくりの方向性について、次の5つの活動目標に整理しました。

課題1 住民（世代間）交流の推進、地区一体感の醸成、 地域コミュニティの活性化

- 東大戸地区では、隣近所や人と人とのつながりが強く、地域内で助け合えるコミュニティができていますが、地区全体で集まる機会や、子どもたちとの交流の機会が少なくなってきたり、住民同士のつながり（交流）が薄れていくことが懸念されます。
- 東大戸小学校区と佐原小学校区（玉造地域）に分かれており、地域の現状や課題、さらには住民の意識にも相違が出てきているため、小学校区を越えた、一体感の醸成が課題となっています。
- 若い世代の地域活動等への参加が少なく、地域に対する関心や愛着、地域内の住民交流がさらに薄れていくことが懸念されます
- 結婚しない人が増え、少子化が進むことにより、今後、自治会や消防団などの地域活動の担い手不足が懸念されることから、地域を担う後継者やリーダーの人材育成を進める必要があります。

協議会 活動目標 I

“住民交流を通じた一体感のあるふるさとづくり”

住民同士の交流の機会を提供し、住民相互の交流と相互理解を深めるとともに、人と人との深いつながりを大切にして、地域社会での人間関係の輪を広げ、誰もが顔見知りの、愛着の持てる地域づくりを推進します。

課題2 歴史・文化の継承、地域教育の推進

- 子どもの成長にとって、外で遊ぶことが生きる力の源と言われますが、その環境が少ない現状があることから、地域ぐるみで子どもの遊び場（居場所）づくりに取り組む必要があります。
- 地域での人と人のつながりが薄れてきている中で、以前に比べ、地域における子どもの教育の機会が減ってきています。
- 東大戸小学校区と佐原小学校区（玉造地域）に分かれているため、地区全体での子どもたちの交流の機会が少なくなってきています。
- 少子化で、各区の伝統行事や祭り、子ども会の活動などの継続が難しくなってきています。
- 地区の豊かな歴史と文化を次の世代に引き継いでいくためには、世代間交流を通して、ふるさとの歴史・文化、伝統行事を学び、ふるさとに誇りが持てるようにする必要があります。

協議会 活動目標 II

“地域の歴史・文化を守り、人を育むふるさとづくり”

地域の歴史、文化、伝統行事への住民の理解を深めるとともに、地域で子どもたちを健全に育成していくことにより、生まれ育った地域への愛着をいっそう増進し、子どもたちが将来も住み続けたいと思ってもらえるような地域づくりを推進します。

課題3 高齢者福祉の充実・健康づくりの推進

○高齢化が進行しており、高齢者一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯の増加も目立ち、高齢者にとっても、また、その家族にとっても、地域内の防犯・防災面や健康などの福祉面において、不安を解消していく必要があります。

○高齢者の見守りの体制や生きがいづくりの場があまりありません。

○車が利用できない高齢者の日常的な通院・買い物などの交通の不便さを感じられます。

○全国的に見ても、生活習慣病や成人病、認知症などが増える傾向にあることから、健康診断の受診や運動不足の解消など健康づくりに関する意識を高めていく必要があります。

協議会 活動目標 III

“互いに助け合い、笑顔で暮らせるふるさとづくり”

高齢者が集う場づくり、健康づくりや生涯学習の機会を提供することにより、住民誰もが健康で、生きがいや充実感を持って暮らせるように、地域ぐるみで高齢者福祉と健康づくりを推進します。

課題4 安心・安全な地域の創出

○東日本大震災や、全国各地で頻発する自然災害などで、地震や水害などの自然災害への住民の不安を解消していく必要があります。

○子どもや高齢者などが犠牲となる犯罪や交通事故が全国的に発生していることから、地域で子どもや高齢者を犯罪や事故からどう守っていくか検討する必要があります。

協議会 活動目標 IV

“安全で安心して暮らせるふるさとづくり”

防災訓練などを実施し、地域住民の連携と協調が図れる災害に強い地域づくりを展開するとともに、一人ひとりの防犯意識及び交通安全意識を高め、誰もが安全に暮らせる、犯罪や交通事故のない環境づくりを行います。

課題5 環境保全・美化、農業の振興

○ごみのポイ捨てや不法投棄、ごみの分別の不徹底が見受けられるなど、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに、清掃や美化活動の推進が必要です。

○東大戸地区は、稲作を中心とした農業が盛んな地域ですが、近年、農業の担い手が不足し、地域農業の存続のために、農業後継者を育成していく必要があります。

協議会 活動目標 IV

**“豊かな自然環境と農業を守り、
次世代につなげるふるさとづくり ”**

地区の豊かな自然環境と主産業である農業を守り、次の世代に伝えるため、自然や河川景観などの保全活動や地域の環境美化を進めるとともに、農業後継者の育成など農業の振興を図ります。

第3章 東大戸地区まちづくり協議会が目指すまちづくり

1 地区の目指すべき将来像（まちづくりのキャッチフレーズ）

“みんなでつくろう
笑顔と会話の つどうまち”

2 将来像実現のための基本理念

東大戸地区まちづくり協議会は、地区が抱える課題を解決し、目指すべき将来像を実現するため、次の4つを本協議会の基本理念として掲げます。

- (1) 地域の縦割りをなくし、自治会や各団体等の横のつながりを大切にします。
- (2) 住民同士のつながりを大切にした、誰でも参加できる活動や楽しく交流できるイベントなどに取り組みます。
- (3) 幅広く地域の声、女性の声を活動に反映します。
- (4) みんなで協力し、一人に負担をかけないようにします。

3 将来像の実現に向けた活動目標と活動例

☆活動目標Ⅰ：住民交流を通じた一体感のあるふるさとづくり

【住民交流】

| 項目名・連携団体 | 事業内容等 |
|---|--|
| <p>住民交流イベントの充実</p> <p>区、地域活動団体、住民 等</p> | <p>住民が気軽に参加できる住民交流イベントを開催・支援することにより、住民相互の交流を深める。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り（盆踊り）、地区対抗運動会、グラウンドゴルフ、ウォーキング、カラオケ等の各種イベントの開催 ・将棋、囲碁、カラオケ、俳句などの趣味を通じた交流イベントの開催 ・既存の住民交流イベントの支援 |
| <p>子どもたちとの交流の推進</p> <p>区、地区社協、小学校、保育所、PTA、子ども会、住民 等</p> | <p>地域住民が趣味や特技等を生かした子どもを対象とする地域講座を開設するなど、世代間交流を通じて、子どもたちの健全な育成を進める。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び教室、農業体験、餅つき大会など世代間交流イベント等の開催 |
| <p>広報紙の発行</p> <p>地域活動団体、住民 等</p> | <p>協議会の広報紙を定期的に発行し、協議会や各種団体の活動内容、地域の話題などを地域住民に広く周知し、情報の共有を図り、相互理解を深める。</p> |
| <p>あいさつ（声かけ）運動の展開</p> <p>区、小学校、住民 等</p> | <p>“出会ったら、まずあいさつ”を合言葉に、あいさつ運動を地域や学校など各種団体が連携して実施することにより、近所付き合いや住民同士の交流を大切にするとともに、地域ぐるみで高齢者や子供の見守り活動を進める。</p> |

☆活動目標Ⅱ：地域の歴史・文化を守り、人を育むふるさとづくり

【歴史・文化、教育】

| 項目名・連携団体 | 事業内容等 |
|---|--|
| <p>地域の歴史や文化の 保全</p> <p>区、地域活動団体、 住民 等</p> | <p>身近な地域の歴史や文化に関する学習機会を提供したり、地域に伝わる祭事や行事等の記録化を推進することにより、生まれ育った地域への愛着をいっそう増進する。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等のビデオ、写真による映像記録化の推進 ・地域の歴史や文化を知るための子ども学習会の開催 ・地域スポットを巡るウォーキング大会の開催 ・案内看板の作成、設置 |
| <p>子どもの遊び場・ 居場所づくり</p> <p>青少年相談員、PT A、子ども会、小学 校、保育所、地区社 協、住民 等</p> | <p>スポーツなどを通じ、子どもの体力の向上と協調性を育むとともに、子どもたちが外で群れて遊び、自ら育つ環境（遊び場・居場所）づくりを行う。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール、ヘルスバレーなどのスポーツ大会の定期的な開催 ・親子レク、クリスマス会、音楽会などの開催 |
| <p>子どもたちの地域参 加の推進</p> <p>区、保育所、小学校、 PTA、住民 等</p> | <p>地域を良くしたいという気持ちから子どもたち自らが自分たちにできることを考え、取り組むことを家庭・地域・学校の三者が連携し、支援する。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生による定期的清掃美化活動、花植え運動、高齢者と児童との交流会の実施 ・小学校や保育所行事と連携した交流イベントの開催 |

☆活動目標Ⅲ：互いに助け合い、笑顔で暮らせるふるさとづくり

【福祉・健康】

| 項目名・連携団体 | 事業内容等 |
|---|--|
| <p>高齢者の見守り活動の推進</p> <p>区、民生児童委員、地区社協、住民 等</p> | <p>高齢者やその家族が安心して生活ができるように、地域ぐるみで高齢者の見守り活動を行うとともに、活動を通して地域住民相互の交流を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯への声かけなど見守り活動の実施 ・高齢者福祉活動に係るボランティア育成、支援 ・区単位で日常的に見守り活動が行える体制づくりの研究 |
| <p>高齢者の集いの場(生きがい)づくり</p> <p>地区社協、地域活動団体、住民 等</p> | <p>高齢者の集いの場を提供し、心身ともに健康でいきいきと生活できる環境の整備を行う。また、高齢者の居場所づくりを展開することで、高齢者の家族が安心して生活できるようにする。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者ふれあいサロン、地区敬老会の開催など、定期的な高齢者の交流機会の提供 ・趣味教室、地区文化祭(展覧会)の開催 ・地区文化(趣味)サークルの立上げ |
| <p>健康づくりの実践の場づくり</p> <p>地区社協、地域活動団体、住民 等</p> | <p>ラジオ体操、ウォーキング、グラウンドゴルフなど気軽に取り組める健康づくりの実践の場づくりを支援し、住民の健康増進を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季ラジオ体操大会、健康スポーツ教室、グラウンドゴルフ大会、ウォーキング大会などの健康に役立つスポーツ大会等の開催 ・健康に関する講演会、研修会などの開催 |

☆活動目標Ⅳ：安全で安心して暮らせるふるさとづくり

【防災・防犯・交通安全】

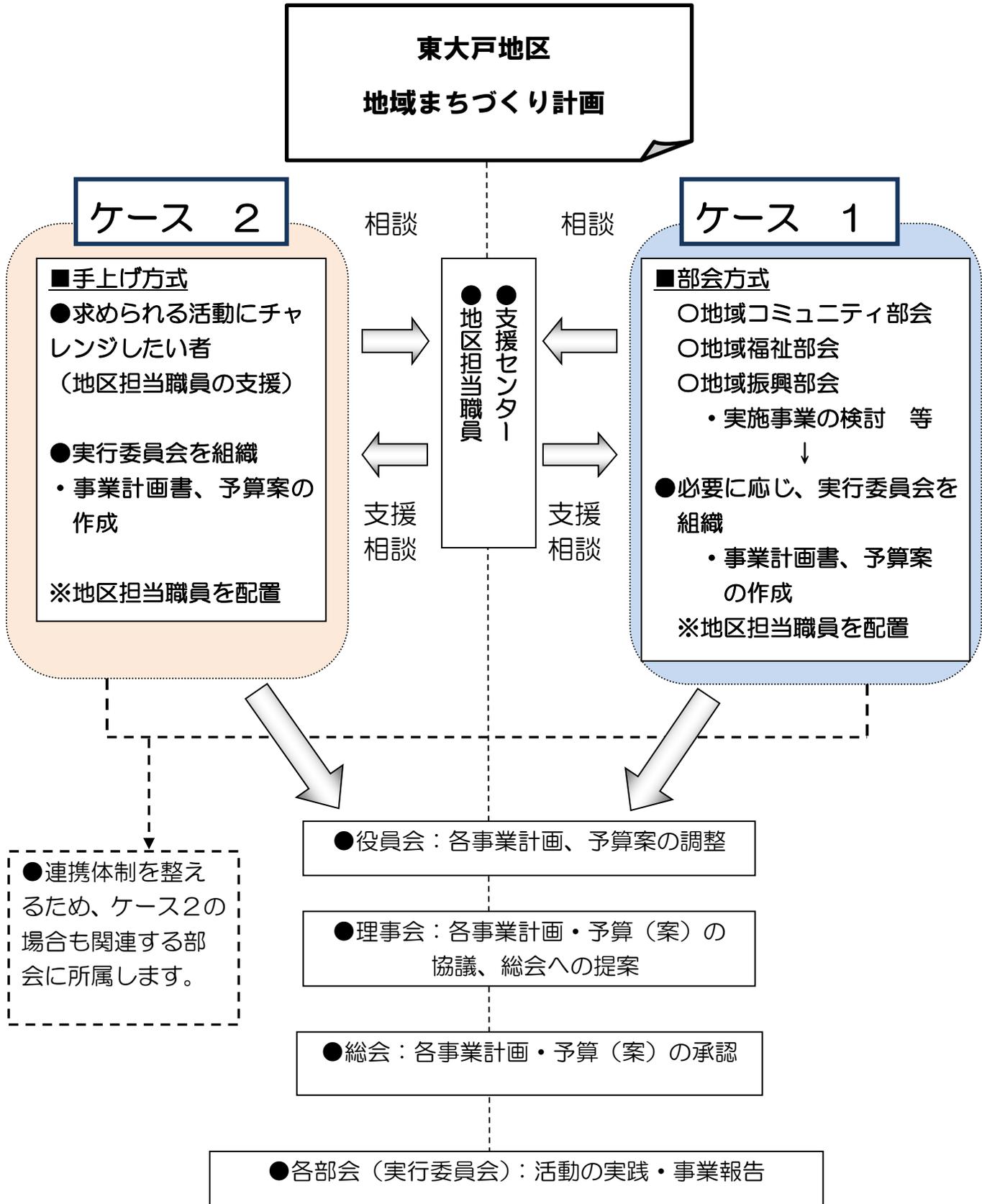
| 項目名・連携団体 | 事業・内容・主体等 |
|---|---|
| <p>自主防災組織の整備</p> <p>区、消防団、住民等</p> | <p>各区における自主防災組織の設立及び育成を支援するとともに、地区全体の防災体制のあり方等について検討する。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織設立に関する説明会の開催 ・（仮）自主防災組織連絡会の設置、運営支援 |
| <p>防災意識の啓発</p> <p>区、消防団、地域活動団体、住民等</p> | <p>行政、関係機関などと連携しながら、防災に関する各種訓練や専門家を招いた講習会等を開催し、知識や技術及び住民意識の向上を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、防災運動会、応急救命講習会等の開催 ・災害時炊き出しボランティアの募集、炊き出し訓練の実施 など |
| <p>災害時の援助体制の検討</p> <p>区、消防団、地域活動団体、住民等</p> | <p>自治会などが中心となって、地域内の一人暮らしや高齢者世帯などの災害弱者に対する支援・協力体制づくりを行う。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災体制を考える検討会議の設置、開催 ・「町内会名簿」、「災害時要援護者登録制度」等の検討 ・地域（自治会、各種団体等）緊急連絡体制の整備 ・災害対応マニュアルの作成 |

| | |
|---|--|
| <p>通学時見守り・防犯活動の推進</p> <div data-bbox="233 450 533 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地区社協、交通安全協会、防犯ボランティア、PTA、小学校、住民 等</p> </div> | <p>防犯パトロール活動を拡大するとともに、子どもたちをはじめ住民への声かけも行う。</p> <p>また、不審者の出没や認知症高齢者の搜索等々、「いざ」というときに情報の迅速な伝達や収集を行い、区内を巡回するなどの対応をする。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを兼ねた“散歩パトロール”や“自転車パトロール”等個人ボランティアの募集及び活動支援 ・「子ども110番」宅の設置推進 ・青色回転灯装着車パトロール活動の拡大 |
| <p>防犯・交通安全意識の啓発</p> <div data-bbox="233 994 533 1173" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地区社協、交通安全協会、防犯ボランティア、住民</p> </div> | <p>研修会の開催や広報紙による啓発、標語募集を行うなど、防犯や交通安全に関する住民意識の向上を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐在さんによる防犯、交通安全教室の開催 ・標語募集、看板等の設置による意識啓発 |
| <p>危険箇所の把握</p> <div data-bbox="233 1375 533 1509" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>区、住民 等</p> </div> | <p>自治会などが中心となって、地域内の危険箇所などの把握を行い、地域住民へ注意を呼びかけるとともに、地域だけで対応できないことについては、行政へ提言し、早期解決を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称) 東大戸地区安心・安全マップ」の作成、各戸配布 |

☆活動目標Ⅴ：豊かな自然環境と農業を守り、
次世代につなげるふるさとづくり 【環境・産業】

| 項目名・連携団体 | 事業・内容・主体等 |
|---|---|
| <p>環境美化運動の推進</p> <div data-bbox="236 689 560 824" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>区、地域活動団体、 住民 等</p> </div> | <p>定期的な美化清掃活動やごみの減量化を地域ぐるみで推進する。また、ごみが多く捨てられている箇所の調査、不法投棄防止、ごみの分別などの環境課題に関する啓発を行う。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域合同ごみゼロ運動（年1～2回）の実施 ・ 公園、通学路等の清掃、草刈り、障害となる木枝の伐採など定期的清掃活動の実施 ・ 環境美化に係る標語の募集、看板の設置等による意識啓発 ・ 花いっぱい運動の推進、花づくり講習会の開催 ・ バザー、フリーマーケットの開催 |
| <p>地域産業（農業）の振興</p> <div data-bbox="236 1485 560 1597" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>農業関係団体、住民 等</p> </div> | <p>地域の農業の担い手の発掘・育成をするため、地域ぐるみで農業への関心や愛着を深めるとともに、今後の農業の可能性や方策等について考える活動を行います。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に関する講演会、勉強会の開催 ・ 子どもの農業体験教室の開催 ・ 各種地域行事などと連携した青空市、朝市の開催 ・ 遊休農地を活用し、高齢者と子どもと一緒に作物を栽培し、交流する「ふれあい農園」の設置 |

4 地域まちづくり計画実践の流れ（イメージ）



●連携体制を整えるため、ケース2の場合も関連する部会に所属します。

おすびに

平成18年3月の合併により、香取市の行政区域は拡大しましたが、各地区においては、自治会や各種団体が主体となり、まちづくりに取り組んできた地域性があります。

まちづくり協議会は、それらの地域性を尊重し、住民の皆さんが自発的に地域の課題に取り組むことができる仕組みです。

住民アンケートでの回答の中には、災害時どう対応したらいいのかわからない、一人暮らし高齢者の生活が心配、通学路が危険、ゴミのポイ捨てが目立つなど、住民の方々から地域の課題について多くの意見をいただきました。

これらを地域の課題として捉え、東大戸地区一体となって考え、行動し、また行政と役割分担しながら連携・協力して地域課題を解決したり、地域の明るい将来を実現させるのがまちづくり協議会です。

『東大戸地区まちづくり協議会』は、本計画書に基づき、東大戸地区の目指す将来像の実現に向けて、住民どうしの絆を深め、皆さんの知恵と力をお借りしながら、今後の活動を進めたいと思いますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



設立総会



理事会



役員会



地域コミュニティ部会



地域福祉部会



地域振興部会

資料編

目次

- 1 地域まちづくり計画策定経過・・・・・・・・・・ 1
- 2 地域まちづくり計画策定部会設置要綱・・・・・・・・ 2
- 3 部会別等ワークショップ関係資料・・・・・・・・ 7
- 4 住民まちづくりアンケート調査関係資料・・・・・・・・ 21
- 5 住民まちづくりアンケート調査 自由意見・・・・・・・・ 25

東大戸地区まちづくり協議会 地域まちづくり計画策定経過

| 期 日 | 会 議 名 等 | 内 容 等 |
|---------|----------------|---|
| 7月11日 | 第1回理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり計画の策定について ・計画策定補助金申請について |
| 7月下旬～9月 | 住民まちづくりアンケート調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・東大戸地区内の全世帯を対象に、地区の課題や今後、取り組むべき内容等に関するアンケート調査を各区長の協力のもと実施 ・上記まちづくりアンケート調査結果を集計、回答結果を分析 |
| 7月30日 | 第1回地域振興部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・部会ごとに、地域の魅力や課題、将来像及び協議会活動の方向性等について、ワークショップ形式による意見交換を実施 |
| 8月18日 | 第1回地域福祉部会 | |
| 9月24日 | 第1回地域コミュニティ部会 | |
| 9月27日 | 第1回 役員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、各部会の検討結果報告 ・地区の課題、協議会活動目標の整理 ・キャッチフレーズの公募等 等について協議 |
| 10月2日 | 第2回地域振興部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査最終集計結果、各部会ワークショップ開催結果等の報告 |
| 10月22日 | 第2回地域福祉部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記結果を踏まえ、別添「事業検討シート」のとおり部会ごとの活動方針や取組み内容等について検討、意見を集約 |
| 10月24日 | 第2回地域コミュニティ部会 | |
| 11月14日 | 第2回 理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり計画（案）を協議・承認 ・部会の設置、今後の活動等に係る協議 |
| 11月下旬 | アンケート調査結果の回覧 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果を地域住民へ周知 |

地域まちづくり計画策定部会 設置要綱

(設置)

第1条 東大戸地区まちづくり協議会（以下「協議会」という。）の地域まちづくり計画を策定するため、地域まちづくり計画策定部会（以下「策定部会」という。）として、次の部会を設置する。

| 部会の名称 | 所掌分野 |
|------------|-------------------|
| 地域コミュニティ部会 | 住民活動、住民生活等に関する事 |
| 地域福祉部会 | 地域福祉等に関する事 |
| 地域振興部会 | 上記分野以外の地域課題に関する事。 |

(組織)

第2条 策定部会の部会員は、別表に掲げる者をもって構成する。

(所掌事務)

第3条 策定部会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 地域まちづくり計画に係る調査及び研究に関する事。
- (2) 地域まちづくり計画の作成に関する事。
- (3) その他第1条の目的を達成するために必要な事項に関する事。

(部会長及び副部会長)

第4条 策定部会に、部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長は、部会員の中から協議会の会長が指名する。
- 3 部会長は、部会の会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副部会長は、部会員の中から部会長が指名する。
- 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(部会の会議等)

第5条 策定部会は、所掌分野に係る地域まちづくり計画原案の策定のため、具体的な事項について審議する。

2 策定部会でとりまとめた事項については、協議会の役員会において、総合的な調整を行うものとする。

(会議の招集等)

第6条 策定部会の会議は、部会長が必要に応じて随時開催するものとする。

2 策定部会の会議に必要と認めるときは、会議に所属する以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

(会計)

第7条 策定部会の経費は、市補助金及びその他の収入をもって充てる。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定部会の運営等に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

1 この要綱は、平成25年7月11日から施行する。

2 この要綱は、策定部会の設置の目的が終了した時点をもってその効力を失う。

地域コミュニティ部会

| | | |
|----|-----------------|-------------------|
| 1 | 【部会長】 加藤 文雄 | 区長会会長、森戸区長 |
| 2 | 【副部会長】 高柴 秀樹 | 区長会副会長 大戸川区長 |
| 3 | 齋藤 正光 | 区長会評議員、大戸区長 |
| 4 | 根本 長司 | 区長会会計、川尻区長 |
| 5 | 小林 克己 | 区長会選出、関区長 |
| 6 | 松本 正男 | 区長会選出、昭和町い区長 |
| 7 | 椿 賢司 | 玉造第 1 町内会長（佐原小学区） |
| 8 | 甲島 とみ | 第 2 号委員 |
| 9 | 大竹 栄子 | 第 2 号委員 |
| 10 | 根本 義郎 | 第 2 号委員 |
| 11 | 遠藤 健一 | 地区担当職員（森戸区在住） |
| 12 | 布施 友里 | 地区担当職員（玉造 3 丁目在住） |

地域福祉部会

| | | |
|----|----------------|------------------------------|
| 1 | 【部会長】 吉田 三郎 | 地区社会福祉協議会会長 |
| 2 | 高橋 隆 | 地区社会福祉協議会副会長 |
| 3 | 鈴木 光男 | 地区社会福祉協議会会計 |
| 4 | 鈴木 経夫 | 地区社会福祉協議会庶務 |
| 5 | 小林 孝行 | 地区社会福祉協議会理事 |
| 6 | 須田 美恵子 | 民生・児童委員協議会会長 地区社会福祉協議会副会長 |
| 7 | 岡澤 幸雄 | 民生・児童委員協議会選出 |
| 8 | 榎 昭治 | 民生・児童委員協議会選出 (佐原小学区) |
| 9 | 鈴木 強 | 主任児童委員 |
| 10 | 小倉 淑子 | 母子福祉協力員役員 (佐原小学区) |
| 11 | 八木 孝幸 | 地区担当職員 (山之辺区出身) |
| 12 | 菅谷 文夫 | 地区担当職員 (大戸川区出身) |

地域振興部会

| | | |
|----|-----------------|------------------------------|
| 1 | 【部会長】 武田 宏 | 地区社会福祉協議会理事 |
| 2 | 【副部会長】 飯塚 輝夫 | 地区高齢者クラブ代表（佐原小学区） |
| 3 | 高柴 正樹 | 青少年相談員五中支会東大戸分会長 |
| 4 | 櫻井 和徳 | 子ども会育成連合会東大戸連合会会長 |
| 5 | 北崎 則之 | 子ども会育成連合会玉造子ども会会長 （佐原小学区） |
| 6 | 小倉 正憲 | 東大戸小学校PTA会長 |
| 7 | 石橋 寛子 | 東大戸小学校PTA副会長 |
| 8 | 田中 利明 | 消防団佐原第1支団第2分団長 主任児童委員 |
| 9 | 林 勇 | 交通安全協会支部長 地区防犯パトロール隊代表 |
| 10 | 山内 鈴子 | 元小学校教諭 |
| 11 | 村田 佳宏 | 地区担当職員（玉造1丁目在住） |
| 12 | 高内 栄治 | 地区担当職員（玉造3丁目在住） |

※ワークショップの開催にあたって

ワークショップでは、「参加者同士が創造的な発言を自由に行って意見交換をし、立場や意見の違いを相互に理解し合う中で、問題を解決するための合意形成を図っていくこと」に重点が置かれています。

このため、共通ルールとして、以下の基本原則に則って会議を進めます。

- 1) 禁止事項の3原則 — 「非難なし」、「肩書きなし」、「文句なし」 —
「非難なし」・・・意見を出し合う場面において、人の発言への非難を禁止
「肩書きなし」・・・参加者の肩書きは、意識しない。
「文句なし」・・・グチよりも課題解決に向けた話し合いを
- 2) 班編成 — 全員が発言できるよう少人数の班を編成します —
全員が発言できるよう参加者を5～7人程度の班に分けます。
- 3) 司会進行 — 進行役（市職員）が議事を進めます —
進行役は、参加者の発言機会が均等に与えられ、それぞれの発言が平等に扱われるよう議事を進めます。
- 4) テーマごとに話し合い — 和やかな雰囲気の中で話し合います —
地域の課題や今後の取り組むべき活動等について、それぞれの参加者の年齢や社会的立場にとらわれることなく、対等な関係で話し合います。
- 5) 意見を出し合い、グループ化 — できる限り多くの（率直な）意見を —
できる限り多くの意見をいただくため、個人で考える時間を設定します。
ふせん紙に各自の意見・提案などを書き込んだうえで、発言してもらいます。
また、そのふせん紙を模造紙に貼り、グループ化の作業をします。孤立した意見や対立する意見が出た場合でも、貴重な意見として尊重します。
- 6) 最後に、各班の話合いの結果を発表 — 全員の共通理解を図ります —
参加者全員の共通理解を図るため、各班で話し合われた内容について、各班5分程度で発表します。

ワークショップの具体的な進行方法について

テーマ1：東大戸地区の「気になる現状」&「好ましい現状」は？

(約15分)

(1) “気になる現状” [悪いところ・困っているところ] ⇒ **赤色ふせん**

(2) “好ましい現状” [良いところ・このまま継続したいところ] ⇒ **青色ふせん**

各自意見を記入する。

【1人各3枚以上目標】

地域の現状について、日頃から抱えている実感や思いなど意見を、“気になる現状”を**赤色ふせん紙**に、“好ましい現状”を**青色ふせん紙**に1項目ずつ簡潔に書き出す。 ※行政に要望するような、道路や施設整備等に関する意見は除く。

■気になる現状は？(例)

地域活動に関わろうとする人が
年々少なくなっている

独居老人が増えている

■好ましい現状は？(例)

各団体の活動が旺盛で、
地域に活性化されている

治安が良い

「上記テーマ1」について、ふせん紙の内容を確認しながら、共通理解を図り、整理する。(約25分)

- ・記入した意見を各自披露しながら、分野に分け、模造紙にふせん紙を貼り付けていく。分野ごとに見出しをつける。

【見出し例】

- ・防災
- ・防犯
- ・健康、高齢者福祉
- ・生活環境
- ・子ども(安全、教育、子育て、子ども会、世代間交流 など)
- ・住民交流・地域コミュニティ(区や団体等の組織、運営のルール、スポーツ、レクリエーションイベント、あいさつ、雰囲気 など)
- ・産業(農業、特産品、働く場、新たな産業の創出 など)
- ・交通(鉄道・バス等、道路、利便性、自転車、歩道、安全性など)
- ・文化、歴史(伝統文化、文化財、など) など

テーマ2： 「こんなことをしたい」 & 「あんなことをしてほしい」！

(約15分)

[今後、自分たちでやってみたい(やるべき)と思うこと] &

[誰かにやってもらいたいこと、続けてもらいたい活動など]

⇒ 黄色のふせん紙へ

- ・地域の課題解決のために必要な活動は？
 - ・地域のいいところをさらに伸ばすために必要な活動は？
 - ・現在、各団体が行っている活動で、続けていきたい、あるいは、続けてもらいたい活動は？
- などの観点から、各自意見を記入する。

テーマ1で話し合ってきた地域の現状を踏まえ、今後、東大戸地区で、どんな取組みや活動が必要かについて、各自意見を記入する。

■「こんなことをしたい」(例)

住民同士気持ちよくあいさつができるようにしたい

スポーツ大会など楽しいイベントを開催して、住民交流を図る

■「あんなことをしてほしい」(例)

独居老人になっても安心して暮らせる地域にしてほしい

地域住民の交流が盛んな地域にしてほしい

「上記テーマ2」について、ふせん紙の内容を確認しながら、
共通理解を図り、整理する。(約25分)

- ・記入した意見を各自披露し、分野ごとに、ふせん紙を貼り付ける。
- ・相対的に意見が多く出た分野など特に取り組む必要がある課題や今後の活動等について総括して終了する。

東大戸地区まちづくり協議会 部会別ワークショップで出された意見等

| 1 安心・安全・防災・防犯について | |
|-----------------------|--|
| 現 状 ・ 課 題 | <p>【気になる現状】</p> <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域で災害に対する備えが不十分・ 地震があった場合、どう対応したらよいかわからない (不安)。・ 地域防災の拠点がない。・ 防災無線がよく聞こえない。・ 災害時の対応が心配。・ 避難所 (東大戸小) から遠い。 <p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none">・ (多) 防犯灯 (街灯) が少ない。・ 不審者を見かける。・ 空き巣被害が多い。・ 畑から野菜が盗まれることがある。・ 防犯灯で青色の灯をつけてもらったが、暗い。前の灯のほうが明るい。・ 不審者による外出時の不安 <p>(交通安全)</p> <ul style="list-style-type: none">・ (多) 通学路が狭く、子どもたちが危険・ 小中学校下校時に、交通マナーを守らない人がいる。・ 子どもの送迎の車で、学校の門の前が混み合う。特に雨の日。・ 旧 356 号の安全対策・ 大戸駅前の大戸川方面へ行くところ (自転車置き場) が危険 <p>【好ましい現状】</p> <p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none">・ (多) 地区社協で実施している防犯 (下校時) パトロールは、とてもありがたい。 |

| | |
|---------------------------------------|--|
| | <p>(交通安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全の取り組みが多く、多くの地区で実施されている。 |
| <p>今後 取り 組む べき 活動</p> | <p>【今後取り組むべき具体的活動等】</p> <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災時の協力体制 自主防災組織の立上げ 地震があった場合の対処方法を勉強する講演会が必要である。 消防団などの地区の防災対策を続けてほしい。 <p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"> (多) 防犯パトロールの実施、継続、強化 (多) 年間を通しての防犯パトロール(通学路、公園等) 地区社協で実施している防犯パトロールを増やして継続してほしい。 防犯ボランティアの募集 一部住民(役員等)の負担にならないよう、地域住民の防犯への協力が必要 住民一人ひとりが見守り隊になる。 各区の安全パトロールの実施 <ul style="list-style-type: none"> 地域の安全マップの作成 <p>(交通安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森戸上宿のバス停に信号を設置すべき |

2 生活環境について

現状
・
課題

【気になる現状】

- 玉造地区の下水問題について市に7年も要望しているが、未だ解決していない。
- 空き家の維持管理が問題化しつつある。
- ペットの飼い主のマナーが悪い。
- 犬の散歩でフンの処理をしない人がいる。
- 捨て猫で迷惑している。
- 猫を20匹近く飼っている家が近くにあり、迷惑しているが、昔から近所なので、みんな言えない。
- ごみの不法投棄、ポイ捨てが多い。
- 通学路のごみが気になる。
- ごみ捨て場の環境が整っていないところがまだいくつかあると感じる。カラスなどの被害があり、もう少しきちんとしたごみ捨て場にしたい。
- 道路沿いにごみが散見される。
- ごみステーションの管理
- 雑草がはびこっている。そのまま放置されると、道も何も通れないし、わからなくなる。草刈りをしてほしいのと刈った草を燃やせる場所が欲しい。
- 排水整備

【好ましい現状】

- (多) 自然(緑)が豊か
- 各区の農地水環境団体を中心に、環境美化活動が行われている。
- 玉造地区は、地区人口が増え、商業が盛んになり、それに伴って生活環境も良くなってきている。
- 玉造区の女性が集まって、ゴキブリだんごを作っているため、ゴキブリが少ない。

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> • 医者、スーパー、コンビニ、学校等が充実している。 • 環境グループ（カッパの会）が存在している。（ただし、運営に課題があると聞いている） |
| <p>今 後 取 り 組 む べ き 活 動</p> | <p>【今後取り組むべき具体的活動等】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ごみ、空き缶拾いの実施 • 空き缶の回収をして、社会に役立てたい。 • 環境美化（清掃）活動の実施 • 地域の清掃奉仕 • ごみ捨て場の環境向上（整備） • ごみステーションの管理については、区等で検討してもらいたい。 • 協同草刈りや町内ごとのごみ拾いなどを続けてほしい。 • ゴキブリだんごの普及 |

| | 3 健康・高齢者福祉について |
|------------|---|
| 現状・課題 | <p>【気になる現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(多) 独居老人の増加 ・(多) 高齢化が進んでいる。 ・(多) 高齢者世帯が多い。 ・高齢者が多いが、どの家に高齢者がいるか把握できない。 ・一人暮らし高齢者の増加に伴い、生活面が心配。 ・老々介護の世帯が増えている。 ・元気な老人が少なくなっている ・高齢者クラブの解散が増えている。 ・高齢者が多いと思われるが、交流がない。 ・高齢者が以前はゲートボールをやったり、カラオケを地域でやっていたが、今はどんな楽しみをしているのかわからない。 <p>【好ましい現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が多い。 ・社会福祉協議会の活動が活発である。 ・高齢者クラブでグラウンドゴルフ、ペタンク、芸能大会、草刈り清掃などをやっている。 ・ボランティアとして、老人ホームで民謡などをやっている。 |
| 今後取り組むべき活動 | <p>【今後取り組むべき具体的活動等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし世帯の定期的な見守り、買い物等の支援が必要 ・高齢者が楽しく過ごせる場づくり（例：高齢ファームで野菜づくり等） ・高齢者の集いの場づくり ・給食サービスの継続 ・独居の方を対象に給食の配付を社協にて行っているが、数年後、さらに独居の方が増えた時、もう少し数を増やしてやっていただけたら、老人も安心するのでは？ ・健康体操など運動やスポーツなどの指導 ・健康志向の地区内取組み母体の形成 ・日頃から声かけ、あいさつを積極的に行っていく。 |

4 子ども・教育について

現
状
・
課
題

【気になる現状】

- ・(多) 子どもが少なくなっている。
- ・若い人たちが都会に行ってしまう。
- ・核家族化している。
- ・晩婚化
- ・結婚しない男女が増えている。

- ・子ども同士の遊ぶ姿が見えない。
- ・子どもを遊ばせる公園などが無い。もっと地域の子どもたちが自由に遊べる場所がほしい。

- ・小学校グラウンドの草刈りを教頭先生がやっている。地区で対応できないか？
- ・子どもの遊び場がない。集会所もない。
- ・少子化で、祭りや子ども会活動など継続しにくい。
- ・子どもの活動の場が少なく感じる。
- ・子ども会に入らない家がある。
- ・子ども会行事など親の協力(理解)が得られないケースがある。
- ・祭りに参加しない子がいる(増えている)。
- ・玉造地区の人は、小学校が異なるため、東大戸小学校区の子どもがわからない。

- ・子どもたちのコミュニティの減少
- ・(多) 通学路が危険(不安)
- ・侵入禁止区域(河川、山砂採取場等)の不安

【好ましい現状】

- ・(多) 小学生のあいさつが良い。
- ・小学生のバスケットボールのクラブが強いので、小学校のバスケットボールも強くなってきた。
- ・大戸や大戸川では、子ども会活動が地道に取り組まれている。
- ・子ども会活動は、子どもたちにとって楽しみの1つになっている。子ども同士はもちろん、親どうしの交流にも、とても良い。

今後
取り
組む
べき
活動

【今後取り組むべき具体的活動等】

- 草刈り等、東大戸小学校の環境整備支援
- 子ども会の連携など、住民間のつながり
- 子どもが安心して（元気に）遊べる場づくり
- 老人と子ども会との交流が必要
- 子どもたちに昔の遊びを伝える。

- 親子のふれあい行事
- 世代間交流イベントの開催
- 子どもたちと地域の人たちが交流できるようなイベントの開催
- 地元の職人さんを呼んで子どもたちの体験教室（切り絵、農作業などを開催する。
- 子ども会祭り、子ども会対抗スポーツ大会などの開催

- 通学路等に標語（例：“元気な大戸っ子”）を立てる。

- 小学生下校時の安全確認
- 民間を活用した見守り

5 住民交流・地域コミュニティについて

現
状
・
課
題

【気になる現状】

- ・(多) 役員のなり手がいない。
- ・(多) 地域活動に参加する人が少ない。
- ・地域のまとまりがなくなっているように思う。
- ・旧住民と新住民の交流が少ない。
- ・新住民どうしの交流が少ない。
- ・世代間交流の減少

- ・地域住民の把握ができない。
- ・地域全体のコミュニケーションがない。
- ・(多) 公民館の利用が少ない。
- ・地区行事は、実行組合長まかせ。
- ・地域の活動が見えない。

- ・隣近所の付き合いがない。
- ・東大戸全体では、集落住民、団地等住民に大別。交流にかべ？
- ・新住民と従来住民にかべがある。
- ・新住民が地域活動に参加しづらい面がある。
- ・祭礼に携わる若い人(子どもを含む。)が減少している。
- ・伝統行事の衰退
- ・学区別のため、地域住民のコミュニケーションがとりにくい。
- ・以前はお母さん方の集まりが月一回あって、子育てやいろいろなことを先輩から聞けたが、最近、年2回の集まりで、参加しない人も増えているそう。
- ・若い世代の地元離れ
- ・住民どうしあいさつする習慣が薄れてきている。
- ・あいさつができない。(大人どうしもししていない)

- ・大戸川はお祭りがあり、地域が盛り上がっているが、子どもの参加数が少ない。今年度、子ども神輿が復活したが、継続してほしい。
 - ・大戸、森戸、大戸川などの区には祭りなどイベントがあるが、東大戸地区全体での住民交流ができるようなイベントがない。
- ・困窮者が地域から取り残されているのでは？

| | |
|--|---|
| | <p>【好ましい現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> • (多) 隣近所どうしのつきあいが良好である。 • 地域の人たちの顔が良く見えている。 • 顔見知りが多く、声がけやすい。 • あいさつや助け合いがよくできている。 • 義理人情が厚い。 • 新しい住民に対してやさしい。 • 新住民が地域活動に参加しやすいよう工夫している。 • 旧住民（農家）どうしの交流は活発 • (多) 祭り等を通じて年代を越えた付き合いがある。 • (多) 祭りや地域文化が継承されている。 • 歴史、文化遺産がある |
| <p>今 後 取 り 組 む べ き 活 動</p> | <p>【今後取り組むべき活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • (多) 旧五中グラウンドの整備（トイレ、水道、除草等）、活用 • 町内として茶飲み友達ができる区にしたい。 • 町内会の充実 • 各町内が活性化し、東大戸全体が良くなってほしい • 地域活動に参加しやすい工夫をしてほしい。 • 地域住民の交流を盛んにしてもらいたい。 • 住民交流が盛んな区にしたい。 • 世代間交流を推進する。 • 囲碁、将棋など趣味を通じた地区内交流大会 • 新しい発想での軽スポーツ大会（運動会）の開催 • 地域交流の場として、子どもから老人まで参加できる行事の開催 • 盆踊り大会 • 運動会 • グラウンドゴルフ大会の開催 • 花見 • カラオケ大会 |

- 大戸駅周辺での地域振興イベント（JRと協力？）
- ボランティア活動している人たちの横のつながりが強まるようなイベントの開催

- あいさつ運動
- 町内の祭りも子どもたちの減少で少なくなっているが、ぜひ、これからも続けていけたら良いと思う。

- 子ども会行事や地区行事に親から参加を促して、役員任せにしない。

- 区長会や実行組合長会議で議題として話し合う。

- 祭りなどでのマナーを守ることを徹底

- 大戸神社をアピールできるようなイベント等の開催（地元の子どもたちにも知ってもらおう）
- 芸術や文化の継承

- 歴史スポットめぐり（散歩を兼ねて）
- 東大戸地区の遺跡調査
- 史跡、文化財などの発掘、集約、一覧化
- 地区内の歴史発掘隊（調査）づくり

| 6 交通・産業 | |
|--------------|--|
| 現状・課題・今後の活動等 | <p>【気になる現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの本数が少ない。 ・公共交通が少ない。部落によっては何も無い。 ・車がないと生活できない。 ・通院のバス等の運行本数が少ない。 ・玉造地区に、高齢者の生活の足として、路線バスを通してほしい。 ・働く場が少ない。 <p>・農業経営が厳しい。</p> <p>・農地の活用</p> <p>【今後取り組むべき活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの利便性の向上 ・通学路の整備 ・佐原駅から国道51号に抜ける道路（10号線）の整備 ・老人の移動手段の確保 ・スクールバスの運行 |

～暮らしやすく、愛着の持てるふるさとづくりを目指して～

東大戸地区まちづくりアンケート調査

ご協力をお願いします！

今年6月27日、香取市まちづくり条例に基づき、地区社会福祉協議会及び地区区長会をはじめ、各種団体の横断的な連携・情報交換を図り、地域の様々な課題を解決する「東大戸地区まちづくり協議会」を設置しました。

協議会では、「地域まちづくり計画」を策定し、東大戸地区の将来目標（どのような地域にしていきたいかという「まちづくりの目標」）を立て、その目標に向かって様々な活動を展開していこうと考えています。

つきましては、「地域まちづくり計画」を作成するにあたり、東大戸地区にお住まいの皆さんの意見を大切に、反映させることが重要であることから、地域住民の皆さんの意見を伺うため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、以下の点に気をつけていただき、ご協力をよろしくをお願いします。

◇記入にあたってのお願い

- この調査は、年代や男女の別など幅広く皆様から意向を伺いたいと考えております。したがって、今回、各世帯へ2部ずつ調査票を配布いたしますので、**高校生以上の世帯員2名の記入**をお願いします。
なお、**単身世帯の方は、調査票1枚のみの記入**をお願いします。
- この調査票は、封筒表面に記載のとおり区長、又は区役員等が回収しますので、そのときにご提出いただくか、各自で区長、又は区役員等までお届けください。
- なお、このアンケート調査で得られた回答データ及び個人情報については、当協議会の活動以外の目的には一切使用しません。

【問合せ先】東大戸地区まちづくり協議会
会長 神崎 正男 (☎52-3092)
佐原市民活動支援センター (☎50-1213)

東大戸地区まちづくり協議会

アンケートをご回答いただくにあたって・・・

- ・選択方式の場合は、該当する欄の数字のところを、○でお囲みください。
- ・「複数回答可」の欄は、該当する欄のすべてを、○でお囲みください。
- ・() 欄は、記述になっていますので、それぞれのお考えなどをご記入ください。
- ・アンケートの設問内容がわからなかったり、難しいところがあれば、わかる範囲でご回答ください。(むやみに○を入れず、無回答にしてください。)

問1 お住まいの区(自治会)は、どこですか？

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1：大戸区 | 2：大戸一本松自治会 | 3：大戸団地(1)自治会 |
| 4：大戸団地(2)自治会 | 5：大戸団地(3)自治会 | 6：大戸川区 |
| 7：森戸区 | 8：新寺区 | 9：玉造第1町内会 |
| 10：玉造第2町内会 | 11：玉造2丁目町内会 | 12：玉造3丁目町内会 |
| 13：玉造東町内会 | 14：山之辺区 | 15：山之辺台町内会 |
| 16：片野区 | 17：片野団地自治会 | 18：上小川区 |
| 19：関区 | 20：川尻区 | 21：多田島区 |
| 22：飯島区 | 23：昭和町い区 | 24：昭和町ろ区 |

問2 性別は、どちらですか？

- 1：男 2：女

問3 あなたの年齢は、満何歳ですか？

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1：16～18歳 | 2：19～29歳 | 3：30～49歳 |
| 4：50～64歳 | 5：65～74歳 | 6：75歳以上 |

問4 東大戸地区は、住みやすい地域だと思いますか？

- 1：思う 2：思わない 3：わからない

問5 これからも東大戸地区に住み続けたいと思いますか？

- 1：ずっと住んでいたい 2：当面は住みたい
3：いずれは他地域に移りたい(理由：)
4：わからない

次ページへ続く

問6 東大戸地区の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは何ですか？

(複数回答可)

- 1：近所や地域のつきあい・助け合い
- 2：個人のプライバシー
- 3：青少年の健全育成
- 4：子どもの安心・安全の確保
- 5：子育て支援活動の充実
- 6：高齢者の生きがいや健康づくり
- 7：祭りやイベント、スポーツ等を通じた地区住民の交流
- 8：住民の健康維持や介護予防のための取組み
- 9：地域の清掃活動、ごみのポイ捨て解消などによる生活環境の改善
- 10：田園景観、水辺や緑などの自然環境の保全
- 11：震災、水害、火災などに対する防災対策
- 12：治安維持のための防犯対策（活動）
- 13：歴史や文化の保存・継承
- 14：農業後継者の育成（農業の振興）
- 15：雇用の場の確保
- 16：通院や買い物など“生活の足”の確保（バスなどの公共交通の充実）
- 17：地域を担う人材の育成
- 18：ボランティア活動の推進
- 19：その他（)

問7 これからのまちづくりには、住民参加が不可欠だと思いますが、あなたは、どのようにお考えですか？

- 1：何事にも積極的に参加したい
- 2：内容や頻度等によっては、積極的に参加したい
- 3：頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい。
- 4：関心がない
- 5：わからない
- 6：その他（)

問8 あなたは、「東大戸地区まちづくり協議会」が設立されたことを知っていましたか？

- 1：知っていた 2：知らなかった

次ページへ続く

問9 地区で解決することが必要と思われることについて、具体的なご意見
や

アイデアがありましたら、ご記入ください。

- 地区で解決したほうがよいと思われる課題など

- 地区の課題を解決するためのアイデア・意見等

(例：東大戸地区住民相互の親睦を深めるため、地区運動会を開催する など)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※今後の「東大戸地区まちづくり協議会」の活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

東大戸地区まちづくり住民アンケート調査 自由意見

平成25年7月～9月 実施

防 災

☆地区で解決すべき課題等☆

- ・防災（水害）対策のマニュアル（各地区及び総合）
- ・千葉県東方沖を震源とする巨大地震が発生したと想定し、東大戸地区全般の防災マップを作成し配布して欲しい。
- ・各部落単位の防災対策を作る。
- ・防災対策の情報が少ない。（大雨、地震時の避難場所）
- ・防災に対する情報が不十分である。
- ・防災対策
- ・風雨等により、木や竹が倒れ、交通の障害になったり、電線の破断が心配される。土地の所有者は責任を持って管理すべきである。
- ・災害が起きた時の訓練を行った方が良い。年に数回行って流れやまとまりの一助になればと思います。実地訓練が大事だと思います。（反省を繰り返すことが大事）。
- ・災害時の避難場所、避難経路の確認

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- ・防犯・防災活動への多くの住民参加。
- ・東大戸地区の防災訓練の実施
- ・災害時を想定したシミュレーションの実施訓練
- ・防災訓練の実施、緊急時→水の供給ができるところ、地区への連絡方法等
- ・震災、水害などに対する防災対策の勉強会を推進する。
- ・地区で集まり避難所、誘導のやり方などやって行ってほしい。（一軒で一人）

防 犯

☆地区で解決すべき課題等☆

- 外灯が少なく、暗い。
- 夜間暗いところが多いような気がします。もう少し外灯を多くした方が安全だと思います。
- 大戸駅、駅前が暗い。防犯面強化。
- 中道が暗い（大戸側）舗装が古く、段差が多い、狭いなどで通学道路が陳腐化している。
- 森戸区の街灯が少ないため、夜暗い。もう少し街灯を増やすと良いかな。
- 麻薬患者などの監視
- 街灯が少なく、遅くなると薄暗いので、数を増やしてもらいたい。
- 電灯の色が悪いので、もっと明るい色にしてもらいたい。”
- 外灯を増やしてほしい。”
- 地区の防犯パトロールが十分でない。
- 外灯の設置、管理をきちんとしてほしい。
- 防犯灯の整備（LEDなど）
- 鉄くず等を集める業者が勝手に敷地内をうろつろして老人等が不安を感じている。警察によるパトロール強化と住民への声かけを行っていただければ、詐欺も防げると思う。

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 暗い夜道、外灯がもう少しあると安心
- 地域の防犯対策の一環として最近健康のために、散歩をする人たちが多いたと思いますが、その人たちに子供達の下校時間の時に散歩をしていただくのはどうでしょうか。
- 地区別でも良いのでパトロールお願いします。（変質者がいるため）
- 電灯を増設すること
- 外灯を設置してもらえるように働きかけをする。

交通安全

☆地区で解決すべき課題等☆

- R356 を徒歩、自転車を通うのは歩道が狭く危険なので、何らかの対策が欲しい。
- 雨の日に、小学生を車で、個人で、迎えに行ってますが、地区ごとに何人かで車で迎えに行ったほうが車の混雑も少なくて良いと思います！当番制なんかで！
- 大戸駅前にロータリーがあれば迎え待ちの人の車が並ばなくてもいいと思います。（危ないので）
- 県道の電柱等地区で協力し道幅が広くなるようにして欲しい。
- 生垣等も歩道にはみ出さないように協力お願いします。”
- 国道 51 号線の横断（歩行者）高齢者の方、子どもたちまでも歩道橋を渡らず、車を運転していると、ヒヤッとすることが多々あります。子どもたちは、親と一緒に横断することに問題があるので、それに倣い、横断すると思いますが、高齢者の方々は歩道橋を渡ることは不可能と思います。横断歩道が必要と思われませんが、いかがでしょうか？
- 国道 51 号線の信号機の充実（山田うなぎ店の所の信号に矢印信号が必要）
- 市道 10 号線児童通学路の安全の確保。
- 少子高齢化、特に高齢化が著しい地域だと思えます。道を歩いている気付くのは、庭木がきちんと手入れされているお宅と、そうでないお宅とがはっきり分かれています。これも高齢により手入れができなかったり、空家になっているためです。そのことで困るのは道路まで覆い被さる垣根や樹木により道（特に歩道）が狭くなり、歩行者や自転車で通る人が危険に晒されることです。はみ出した樹木をどうにかすべきだと思います。
- 道路の幅が狭いことに加えて、入り組んでいる箇所が多い現状なのに、夜間電灯が少なく、女性や子どもの一人歩き、交通事故等の不安解消（安心安全の確保）に向けた取組みに課題を感じている。駅周辺ですら、暗がりが多い。
- 農道であっても制限速度、標識を設置したほうが良い。（猛スピードで走る

車、バイクがいて危険)

- 歩行者の安全、特に通学路
- 歩道の雑草
- 道路、特に通学路の樹木の整備
- 以前の356号は、ダンプ、大型車等の車が多くて、ある程度の通行量もあったが、現在、飯島方面に新道路ができて、危険性も少なくなったように思うが、夕方になると、道路上も暗く、不安である。
- 木の伐採の必要な箇所がある。
- 外灯が少ない。
- 道路上の段差が多い。

★地区の課題を解決するためのアイディア、意見等★

- 春秋の交通安全週間や社協の12、1月の防犯パトロールだけでなく、年間を通してポイントを決めて実施する。

環境美化・保全

☆地区で解決すべき課題等☆

- 庭でのごみ燃しをやめてほしい。洗濯物に匂いがつく。
- JR大戸駅を利用していますが、何度も感じていることは、無人駅のせいか、食べ物や飲み物などの空き容器やごみなどがいつも散らかっています。主に高校生のようです。家庭でのきちんとしたしつけがなされていないのだと、つくづく感じました。
- ポイ捨て防止
- ごみステーションの整備をもっと向上してほしい。
- ごみ集積所の整備、カラス対策
- ごみステーションが私の家の近くにあり、利用させていただいているが、用水路?の上に木製パレットが1枚設置されているだけなので、万一、ゴミ袋等が落下しても取りに行かないので、清掃局の方に負担をかけてしま

します。→ ごみステーション用の土地を新たに取得していただくか、囲いのような設置を希望します。(森戸)

- ごみステーションの整備不足のため、カラスによる被害がある。
- ごみ捨て場のカラス対策
 - お金を出し合い、ごみ置き場を設置する、若しくは順番で清掃する。
- ゴミの問題を考えて欲しい。
- ごみ廃棄、不法投棄等の取締り
- ごみ問題です。守ってもらえない人がいるということです。何でも構わず出されると困ってしまいます。
- 地区内もきれいですし、治安も良いと思いますが、ゴミ拾いなどのボランティアはやっても良いと思います。
- 除草作業など。
- 通学路や道路の周りの雑草の刈り取り、ごみを無くすこと。
- 指定のゴミ袋に入れてごみを出さない人がいる。
- 人のあまり行かない山裾等がごみ捨て場になっている。
- とにかくごみのポイ捨てが目立つ。捨てられているごみはジュース類や菓子類が多いことから小中高生が主体か？ごみゼロ運動のような地域（学区）全体で、児童・生徒も参加させて、清掃運動（活動）を定期的を実施すべきではないか。春休み、夏休み、冬休みの年3回実施（就学中の子どもは全員、各世帯から必ず1名参加させる）
- ごみ収集場所に看板（マナー、収集日、分別等）をお願いしたい。
- 地区の清掃等行う際、苳草、ヘドロの捨て場がないので、対策をお願いしたい。
- 農業用の資材やビニールを黒煙を出しながら、何時間も燃やすので、窓も開けられず、鼻も痛むほどです。あちこちで同じ話を聞くので、解決してほしいです。苦痛です。
- 近隣に煙害を与え、ダイオキシンをまき散らし、さらには火災の危険性が

ある屋外でのごみ焼却の禁止策

- ハクビシン等の駆除
- 河川等の外来魚の駆除
- 大戸池をきれいにしてほしい。
- 川の清掃。
- 空地の管理

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 各地区で行っている保全事業を東大戸全体で参加して、清掃なり、大須賀川護岸整備などの、例えば、桜並木にしてみたり、アジサイとか、芝桜などにしてみる。
- 月1回程度、市の担当課と一緒に、ごみ不法投棄防止パトロールを実施する。

ペット

☆地区で解決すべき課題等☆

- 犬の散歩で糞の処理をしない人がまだいる。看板は立ててあるのに。。。。。
- 飼い犬の糞の道路等公共用地への放置防止（禁止）対策
- 飼い猫の自分の屋敷外への放し飼いの禁止策
- ペットを飼っている人で、他の家の人寝静まっている時に犬が泣き止まないで、いつまでもずっと吠えているのはどうかと思う。
- 農道をペットと散歩する人に守ってもらいたいマナーがあると思います。自分のペットの「フン」は持ち帰るようにお願いしたい。すごく「迷惑」しています。
- 野良猫、ペットの糞尿の問題。猫の放し飼い。
- 飼い主は猫の管理を徹底させる。

高齢者福祉

☆地区で解決すべき課題等☆

- 高齢者が使いやすいように、公民館のバリアフリー改修を（玄関、トイレの段差、座卓・座布団のイス化を）
- 老人の交流の場所が少ない。
- 若者が都会に出ている家庭が増えていて、少しずつ老人の生活になっている。
- 一人暮らし高齢者の方との支え合い。

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 区公民館があるといいですね。高齢者の集まる場所があると楽しくなりますね。
- コミュニティ施設を充実し、楽しく介護予防が出来るシステム作り。
- 自由に交流できる場の充実。
- 体力づくり ヨガ体操
- 体力づくりを開催して欲しい。（例）ヨガ、気功、地区の学校の体育館を利用する。
- 盆踊りを復活すること。”
- 高齢者の生きがい対策。各地区には「老人会」があると思うし、活動している地区もあるでしょうが、小さな地区（村）ではいかがでしょうか？高齢化はどんどん進み、独居老人、あるいはそれに近い状況の高齢者がいます。この者たちへの「生きがい」は、今やデイサービスに頼られているのでしょうか。このサービスを受けられない人はどうしているのでしょうか？この問題は行政なのでしょうが、地区で実施できるものはないか。小学校に空き教室はありませんか？老人の知恵を子どもたちに伝え、また子どもたちとの交流を通じて活性化を図る。65歳以上の男女エントリーシステム（特技の登録制度）を利用してはいかがでしょうか？

- 高齢の方の足の悪い方や外出をあまりなさらない方と近所のお茶会などでも良いので開くと、状況がわかり、“たまにはお買い物のお手伝いでも・・・”ということもできるのではと思います。
- 老人、または60才以上の人が多くなってきているので、近くの人助け合いが必要だと思うが、なかなか個人の生活を中心になりつつあり近所の人でも一年近くも顔を合わせなかつたりしていることがあるので、全員参加のボランティアや清掃などがあるといい。
- 認知症にやさしい地域づくり

子ども・教育

☆地区で解決すべき課題等☆

- 子どもたちの遊び場がない。(公園か広場)
- 子どもたちが遊べる公園が少ないので、増やしてもらえるとありがたいです。
- 小さな子供が遊べる場所や機会がない。
- 子どもの遊ぶ場所がない。(TVゲームや塾通いが要因か)
- 地区で解決とはいきませんが、市を巻き込んで、公園など子どもの遊べる安全な場所の提供
- 危険な建物やごみ放置されている場所を把握し、子どもたちに危険が及ばないようにする。
- 子ども会のある地区と子供の人数が少ないため子ども会のない地区があり、夏休み等、子ども会の旅行に行ける子と行けない子で差があり、子どもから不満が出る。
- 子ども会がある地区は、ぜひこのまま継続させてほしいと思うが、子どもの減少で子ども会がなくなっている地区もある。子ども会がない地区の子どもたちのためにも、何か交流をもつことができる場があると良い。”
- 子どもの預ける施設が少ない。

- 若い人たちに住みやすい子育てをしやすい環境を作って欲しい。リターンしてくる若い家族が子供預けて仕事をしたいのに、保育所は時間外保育をしてくれない。8時半から4時送迎では、社員として仕事が続けられない。

- 子どもの非行やいじめ

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 分校の利用として、子供たちが雨の日でも遊べる場としてきれいに整備する。
 - 子どもたちが安心して遊べる公園や広場が近くにあるとありがたい。
 - 児童館や公園などがあればいい。
 - 保育所や児童クラブ等の施設の充実、公園や遊具等をふやしてもらえるよう働きかける。
-
- 子ども会がない地区もあるので、年に一度、「東大戸地区対抗スポーツ大会」などがあると、地区全体で交流を持つことができ、良いと思う。
 - 少子化のため、保育所や小学校の運動会を一緒に出来たら良いと思います。
 - 東大戸子供会全員でガス風船にメッセージ等を書いて飛ばす。
 - 子どもたちの健全な育成推進に、1. 郷土の文化を大事に伝えていく 2. 小さな子にはおとぎ話や神話をもっと伝え、心がきれいになる材料を提供していく。(学校の紙芝居等) などすべき。

地域コミュニティ

☆地区で解決すべき課題等☆

- 公民館の利用が少ない。(駐車場がないためでは?)
- 各部落の公会堂の利用の方法を考える。
- 集会場の使用方法について、もっと開放して高齢者の集いの場にできないでしょうか?
- 気軽に集まれる場所がなく、地域情報がわからない。

- いつでも自由に利用でき、その場所へ行けば誰かと会い時間も制限もなく情報交換が出来る、自分がまだまだ知りたいこと、先輩の方々に気軽に聞いたり出来る雰囲気施設の施設が近くにあればと願う。
- 大戸川地区150軒公民館がないのは不便だと思います。地域コミュニティの一助となるよう公民館の建設は不可欠である。(香取市は成田空港の航空路となっており、区民を上げて地域コミュニティのハードについて補助を利用し解決すべきであると考え。PS、いまだき150軒もある区において公民館が一つもないことは異常な地域である。(大戸川区)
- 若者の地元に対する関心度が薄いと思います。”
 - 冠婚葬祭（新盆見舞いや他の見舞い等）についての改善を望みます。
 - 交際の縮小（人の減少と核家族化によるもの）
 - こちらに住んでまだ日が浅いのでよくわかりませんが、ただ、行事にお年寄り（70代以上）が目立つので、もっと若い世代に参加させるべきだと思います。(40~60代ぐらいがいいと思う。)
 - 市内、近隣市町村に働く場所が少ない。若者たちが地区から出て行き跡継ぎのないところは、確実に空家となりこれから増えていく。防犯防災上からもどうしたらよいか。今後大きな課題となるのでは！！
- 住民の意識を高めるためどうするかを考えて実践していただきたいと思います。
 - 助け合い、お互い様という気持ちが大切
 - 町内の役員をやらない家がある。不公平です
 - ボランティア活動、役員の協力者が少ない。
- 例えば毎年の旗振りですが、仕事があるのではっきり言ってつらいです。通学時間も旗振りの時間とずれているのを感じます。今までこうやって来たからずっとこうなるというわけではなく、皆からの意見を踏まえて改善していく地区になることを願います。

- （19歳～29歳回答）地区住民の親睦を深めることは、意義のあることだと考える。しかし、地区の集まり等のために、貴重な休日を潰さなければならないことがある。私にとって、「暮らしやすさ」とは、個人的な生活の充実であり、地区の活動（集まり等）のために、個人の生活を犠牲にしなければならないとすれば、その地区は「暮らしやすさ」とはかけ離れたものになると考える。地区の集まり等は、本心では参加をしたくなくても嫌とは言にくいものである。これ以上、負担を増やさないでほしい。”
- （森戸）区費割当金は、どのようにして決定しているのでしょうか？不明なため、釈然としません。用途の面、もっとわかりやすく公表していただきたいです。
- 子どものいない家庭にまで子ども会費を少額とはいえ請求するのはおかしい。会費を出してもらうのなら、少なからず、どういうことをしているのか、参加させてくれてもいいのではないかと思う。私は払いたくもないし、参加もしたくない。
- 消防団の会計報告を回覧すべき。（又は個別に渡す）
- 親睦会費が高い。（毎回参加者は限られていると思うが、飲食に使っているのは明らかなので、少し考えて欲しいです。）例 自分が参加した時は山田屋さんのフルコースでウナギのお弁当付きで参加費 2,000 円でした。アルコールも大量に注文していたので 2,000 円以上は親睦会費から出たと思われます。（他町内は数百円らしいです。）

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- あいさつ運動
- 町内会名簿、会則の冊子を作ることがまちづくりの第 1 歩だと思います。
- 東大戸地区に若い人が住みたくなる様な仕組みがあればいいと思います。例えば学童保育所を地域の人達で運営するとか、市から補助金をもらったり、お年寄りの人に協力してもらったりとかお年寄りの生きがいにもなるのでは？

- 町内を覚えてもらえるよう、回覧板などにプリントを入れる。小さなときから大切だと思うので、漢字に振り仮名を入れるなどした方が良いと思う。
- 公民館設置
- 地区必須活動のシフト制ローテーション制導入

住民交流

☆地区で解決すべき課題等☆

- 大戸区には、親子で参加できる祭りが無い。
- 大戸地区地域全体のイベントが無い。
- 各種団体の人間関係に問題があるのでは？それを解決しないと、良いまちづくりはできないのではないのでしょうか？地元で活躍する若い人たちの声も聴きたいです。
- 旧五中跡地が草で荒れている。

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 公民館の活用、地区住民の交流
- 映画、コンサート（歌、落語）企画イベント
- 自治会毎に色々な催しを！（例）（カラオケ大会、将棋大会、運動会、演芸大会金魚釣り大会、宝探し大会、間違い探し競争、簡単な計算競争）など
- 東大戸地区全体で、お祭りをする。また、小、中学校生のみでの大会を開くなど友人がしやすいようにする。
- 大戸公民館、小・中学校でのカルチャー教室又はスポーツサークルの立上げ運営。（恒常的なコミュニティの構築）
- 運動会は良いと思います。すべての年代の人達に参加できるような種目にして、まずはやってみて少しずつ改善していくようにすればよいのではないのでしょうか。
- 年に一回でもいいから地区運動会の実施を提案する。小学、中学、青年、老

人、各年齢別の競技。老人の部は60歳から70歳、71歳から80歳等。さびれた香取市を東大戸地区から活性化させないと青少年が生きがいを失ってしまう。再考されたし。”

- 小学校での体力づくりを兼ねたスポーツ大会（小学校のスポーツ大会のような）と地区対抗とを織り交ぜて楽しくできるイベントの開催。
 - 地区運動会の開催に賛成（地区民で、イベント的な感じで・・・・。）
 - 地区住民が集まって、スポーツ、その他イベントなどのできる広場をつくる。（旧五中跡地利用など）
 - 地区運動会は、30年位までは実施されていたが、なぜやらなくなったのか？
 - 運動会なんてしなくていいです。旅行はいかが？
 - 運動会は必要ない。
-
- 東大戸全体で盆踊り、釣り大会、地元の特色のいかせる行事？レクリエーション？孫、子、老人、みんな参加できること。
-
- 納涼盆踊り大会
 - 夏祭り（盆踊り）などあればいいと思う。”
 - 祭りが出来ればよいが、若い人たちが参加できるもの
 - 盆踊りの復活（小学校、または中学校で）
 - 夏祭りなど開催してもいいのでは・・・・。大戸地区は、夏祭りもないので、子どもたちもさみしいのではないか。
 - 年1度か2度の祭りをやりたい。•夏（お盆時期）にお祭り（イベント）を開催する。
 - 交歓、交流により親睦を深めるため、東大戸地区祭りを開催する。
 - 地域が一つになって行動し、参加できる場として、盆踊り、野菜等の安価での販売、絵画展とか・・・
-
- 旧五中を利用し、小祭りのイベントを集う。
 - 旧五中を使って、親睦を深めるイベントを考えてみてはどうか？企画、立案は、役員の方々に決め、各コーナー及び発表会は地区ごとで分担する。”

- 旧五中跡地を常時整備し、サッカー、グラウンドゴルフ等ができるように水道、トイレ、休憩場所を設置すれば地区住民の憩いの場所となる。

- 東大戸タウン誌の発行など。
- 各地区に残されている祭礼などを全体に知らせるための広報活動
- 「東大戸みんなの広場」月1回 学校便り、サークル活動、祭礼、農業の四季、求人、ご長寿紹介、自然や生き物
- 地域紙を発行して、意見・情報の交換を行う。

- 料理教室の立上げ。(地域コミュニケーションの促進)
- 年代別の交流会(子供会、青年会、老人クラブetc.)
- 様々な情報の提供や、催しものの開催。”
- 地区ごとに、カラオケ、芸能等レクリエーションはいかがですか？
- 芸能大会等を行い親睦を深める。見せる機会があればそれなりに頑張るのではないのでしょうか？なるべくグループ活動の発表とする。
- 練習場の提供として廃校になった分校の利用などはどうでしょうか？”
- 世代間交流の場づくり(忘新年会、カラオケ大会等)
- 強制参加ではなく、自主的に賛同できる行事や親睦会などがあれば、地区交流やコミュニケーションがスムーズにいくと思います。長時間ではない食事会など。。。。。
- 東大戸地区仮装マラソン大会”
- 月に1度でも、若い人や高齢者、子供が集まれる場所を作り、フリーマーケットなどを開いて交流する場があると良い。
- 公民館を利用して、ストレッチ体操など、講師によって指導を受ける。”
- 趣味の集い(教室)を開催し、交流を図る。
- ふれあいイベントを開催する。出店(綿あめ、焼きそば等)も行う。”
- 清掃等をしながら他の地区を回って歩く教室(中高向け)、神社、お寺を回って知識を得ながら。。。。”

- 「親睦」の意味が薄れてきている。組合、会社でも運動会に人は集まらない。飲み会だって若い人は来ない。地区の相互親睦をなぜ求めるのか？その前に、町内でしょ？（例：清掃活動後にバーベキュー大会などは入口ではないか。森戸なら5町一緒の会場で実施すればよい。他町との交流は必ず生まれる。各町別ではそれで終わってしまう。）”
- 地区運動会や祭り・・・とんでもない、人が集まるわけがない、人がいないのであるから！

玉造地区

☆地区で解決すべき課題等☆

- 現在、玉造地区に住んでいますが、東大戸地区と言われてもピンと来ない。場所的にも佐原のまちに近いし、子どもたちなども佐原小、佐原中に通学していることから、玉造を東大戸ではなく、佐原のほうへ区分していただきたいです。
 - 玉造と他の区では、小、中学校が違う。
 - 生活が佐原地区のため佐原地区の町内会に入った方がいいと思う。（小中学校も佐原のため東大戸地区に知り合いがいません。）
 - 玉造が東大戸と言われても、学校関係が昔から佐原なので、良くわからない。歴史的な説明が必要と思う。
 - 玉造第2町内会は、学区が佐原なので、東大戸地区とは付き合いがないが……。
 - 玉造は佐原と東大戸双方の付き合いがあり中途半端な交流となっている。古い人は東大戸を知っているが、若い人は知らない。
 - 小学校、中学校の違いで、東大戸地区の友人ができない。
 - 玉造から東大戸町内へのバスなどがなく、学生は行きたくても行けない。
-
- 玉造東町内に住んでいますが、この区域は計画的に開発された地域のため「東大戸地区」という標記そのものに抵抗があります。スーパーマーケットも至近距離にあり道路や下水道その他整っており生活しやすいところです。農家

でない事も関係していると思います。玉造地区全般にそういった感想をもっている方々もいるのではないのでしょうか？

- 私共、玉造地区の住民は、佐原市内でも住みやすい地区に暮らしております。現在の生活にあまり不満はありません。暮らしやすい町は既にできております。東大戸地区まちづくり協議会という名前を聞いて非常に抵抗を感じます。玉造の住民は現在では新住民が多いので考え方が多様です。他の地区の方と一緒に考え方ではついてきません。東大戸地区という名前を変えないと、住民は嫌がると思います。
- この“まちづくり”は、小学校区単位と聞いていたが、なぜ佐原小学区の玉造が大戸地域に入っているのか？根底が変わった理由を広報かとりで説明してほしい。

★地区の課題を解決するためのアイディア、意見等★

- 東大戸地区は、範囲が広いので、玉造地区だけでのイベントを行うようにして、徐々に東大戸地区で親睦を深めると良いと思う。
- 東大戸地区の町内などを若い人にわかってもらう。
(私自身分からず、今回のアンケートで知りました。)
- 玉造区の世帯数が旧佐原市内で一番多い数なので、東大戸地区より分かれ、独自の地区で進めて良いと考えている。強く希望する一人です。

まちづくり

☆地区で解決すべき課題等☆

- 各種団体の人間関係に問題があるのでは？それを解決しないと、良いまちづくりはできないのではないのでしょうか？地元で活躍する若い人たちの声も聴きたいです。
- 高齢化、過疎化、農業後継者不足、少子化等が急速に進んでいる中で何を一番考えなければならないかと言うと、人を地区に集める、呼び寄せる活動が

最も大事だと思う。地区で何をできるか、もっと真剣に考えるべきである。人がいなければ何も始まらない！

- 各団体、地区役員、住民の役割の明確化
- 自治意識の醸成がいっそう求められる。
- 住民の健康維持や介護予防のための取組み。
- 少子高齢化に向けた協力体制
- 少子高齢化による“大戸地区人口減”対策が必要。まずは住民が増えるような政策、活動を願います。
- 全地区要望の把握と重要度順位（順番）
- 地域活動に、特に若い人の協力（参加）をお願いします。
- 地区でたくさんの組織があってわかりにくいと思います。それらの組織をまとめて統一された組織を形成したほうがいいと思います。
- 地区の連帯感
- 東大戸地区として解決すべき課題を見つけるのは大変でないですか？協議会内で決めて、とりあえず実行してみるということはどうですか？
- 無関心ではなく、何事にも関心を持ち、意見を出し合う。
- 役員の集いでなく、自分たちの町内、組合より小さな、小さな集まりから少しずつ発展させていくことが大事だと思う。
- 若い人が減る一方、老いた人ばかりになることを解決する方法が見当たらない。まず、若者、子どもが増える、活気のあるまちづくりが必要。地区ごとの行事ではなく、東大戸全体で取り組める行事を考える必要がある。バカ面踊り（八木節）：船橋市が市の行事として実施している。どじょうすくい：全国大会がある。子どもから大人まで楽しめるものを習得して地区大会ができるような楽しみ方。
- 若い人たちが地元に住みたいと思えるように！
- 東大戸まちづくり協議会は小学校の学区によるエリア設定と思われるが、少なくとも私には玉造地区は、なじみが薄い。まして、新興住宅地のため人の顔が見えない。代わりとしては申し訳ないが、地理的に近く中学の学区である谷中をこの活動に取り込んではどうかな？堀之内よりも大戸川にかなり

密接していると思う。近い将来なるであろう学区再編時は、鳥羽、与倉に谷中も加えてはどうか、現に瑞穂に行かず東大戸に通う児童も散見される。

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 玉造地区以外は、全地区で人口が減っているのです、他県や他地域から人々が移り住んでくるような魅力ある地域にするにはどうしたらよいか？地域全体が一緒に出来る催しを考える。具体的にはこれからだが、子どもを中心にと考えると、子どもがいない。何世代の昔のように、ひとつ屋根の下に住むような社会に。。。。。
- 区内の話し合いも誰でも参加し、意見を述べる場があったらいいと思います。
- 五中の跡地利用
- みんなで話し合える場を多くする。
- 他地区との懇談会。
- 独身者の結婚を手助けする（ネットや広報を積極的に使用する。）
- 空家対策（廃屋化が進み増々地区がすたれる）
- 他地区から移住し、空家に住める方策を探る。といった活動をすべきと思う。
- 誰もが納得できるもので、各世帯から絶対1名参加するボランティア活動などから始めてはどうか。
- 東大戸地区からなんて無理。まず、狭い地域から輪を広げるべき。
- 東大戸地区全地区と親睦を深めるためには、各地区から親睦を深めるイベント等を考えて、それを盛んにし、それから東大戸地区全体にするなど
- 次世代へいろいろな分野について継承してほしい。
- 実行組合長以外に、各1名以上選出（推薦）していただき、人材を把握し、協力してもらおう。
- 大きなイベント等まだ開催するのは無理。誰でもボランティアに参加できるように地域のごみ拾い、見守り等が大切。だんだんに理解してもらおうのが先決だと思う。
- イベント等持たないでほしい。地域密着の活動を望みます。
- まちづくりとして取り組む問題が広範囲にわたっているので、いくつか問題を絞って取り組んだらどうかと思う。また早急に取り組む問題は何か考え、

順位を付けて進めたらどうかと思う。

- 地区を少し小さく分け、活動しやすくする。広域なため、活動が均一でない。活動の質の向上をめざし、地域的に偏りがないようにする。

例：高齢者クラブの設立や弁当づくり等他地域でも同様に実施する（一部の地域でなく）。”

歴史・文化

☆地区で解決すべき課題等☆

- 大戸川祭礼に関して、子供の人数が少ない。大人の参加者も少なく、高齢化のため支障があると思う。又、お店の出店もなく暗くて寂しい気がします。
- 大戸神社のお花祭りで、2日間、夫婦動員されるが、内容的にも1日で十分。時代にそぐわない。
- 大戸神社のお花祭りは、体力的にも大変なので、1日でよいのでは？
- 各自治会に残っていると思われる行事に積極的に参加する住民が少なくなっている。そのため、伝統ある行事がなくなろうとしている。
- 地区での行事をもう少し簡素化できれば？
- 地区に住んでいても、行事や習わしなど知らないままのことも多々あるので、回覧版等を通じて、もう少し詳しく知ることができればと思います。
- 祭りのことで子供の数が少なくなってしまったのでこれからも他町村あるいは女子も参加できるようにした方が良いのではと思います。
- 出店があったら人が出るのではと思います。”

★地区の課題を解決するためのアイデア、意見等★

- 東大戸地区にはたくさんの伝統行事があると思いますが、昔ながらのやり方を守る必要はないと思います。今、生きる世代が自ら楽しめるような、また、地区外の人を惹きつけるような行事を行っていけば良いと思います。
- 50年近く大戸川に住んでおります。折角夏祭りがあるのに新しく入って来た人には参加しづらく、楽しく祭を待つ様に思われません。子供から大人迄

皆で楽しめる様出来たらと、願ってます。講演会など開かれるのも良いかと思
います。

- 大戸神社の神幸祭の縮小
- 年齢的に負担なので、運動会等は困るが、土地の古老等昔の生活等を知る方々
の話を書面化したものとかは読みたい。

農 業

- 東大戸地区は、農業・畜産が盛んなので、野菜や米、肉等を地区で販売する
施設をつくってはどうか？
- 農業後継者の育成というよりも、農業その他を見直したほうがいいのではな
いかと思う。
- 小さな規模で畑を貸すシステム。（地域コミュニケーションに役立つ）
- 現農業者たちの会議の場で「農業」中心の議論だけではなく、日本の未来に
必要になるエネルギーや施設なども視野に入れて議論するべきだと思います。
- 空いている田畑が年々多くなっています。地区で借り受け、集団で耕作した
らどうでしょうか。素人の言うことではないと思いますが・・・。

そ の 他

- 飯島地区へのスクールバスの導入。
- 飯島地区への循環バスの試験的運行

- 住民が増えない（逆に減少する）のは、買物が不便だからです。
車で食材を買いに5～6km走らなければならないのは不便です。
- 東日本大震災以来、市役所が遠い、銀行等がATMさえ近辺にない、など諸々
の生活の不便さが気になっています。
- 大戸駅から徒歩圏内での金融機関の出店（ATMだけでも）。
- 近くで買い物（新鮮な食品）週一度でも良い。

- 香取市地域に大きい企業が来てくれないなど、跡継ぎが他の地域に行ってし
まい残ってくれない。その為年寄りが年寄りを見、地区のまちづくりが？ 大
きい企業が来てくれるよう市議会の方で頑張してほしい。

- 大戸駅前ロータリーの設置。
- 大戸原山地区の道路整備。
- 大戸神社から原山に行く道路を改良してほしい。
- 大戸原山入口の道路拡張工事をお願いします。
- 下水道の整備を早急にしてほしい。
- 広域農道の整備（舗装化）
- 市道 10 号線通学路の安全の確保。
- 街灯の取付け、ガードレール設置、道幅を広くする等。
- 水道管を引いてほしい。
- 通学路の拡幅工事、玉造区より 10 年以上続けて申請したにも関わらず実現しない。
- 道路整備、交通手段の改善
- 道路等の整備（災害により修復が必要と思われる場所）
- 排水路の整備
- 排水路の使用方法等について検討が？